女子プロレス・ビューティフル・ファイター・グラフィック

リングより愛を!!

Beautiful Fighter Graphic

ナンシー久美

ミミ萩原

ジャンボ・ポスター付

ジャガー横田

680yen

チャンピオン デラックス

ミミから読者のみなさんへ

ミミ萩原

リングでは激しい戦いをおみせしてますけど、わたし、実はお裁縫とお料理がとってもじょうずなのよ。お裁縫はママゆずり、いつか自分で作った舞台衣装で歌いたいと思っているの。それから、テレビの料理番組などに出てタテをふるってみたいな。

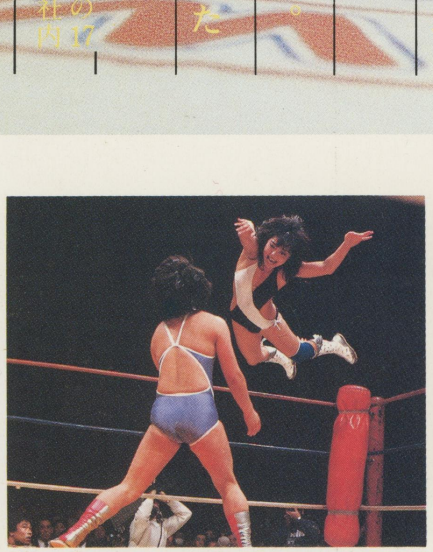
恋人もほしいな。巡業のときはカゴの中にペットのピノがいっしょですけど、わたしのハート型のカゴに合ったカワイイ男のコの心をいつも入れておきたいわ。ママにいつまでもあまえちゃっているのもそろそろモンダイですよネ。体力のないわたしがここまでやってきたのも女子プロレスの仲間やママのおかげですけど、わたし、チャレンジ精神も人一倍あるのよ。いまは東京でボクシング・ジムに通っているわ。そしてモリモリ食べて青春の難関をとっぱしちゃおうーってわけなんです。

読者のみなさんもクラブ活動に、入試勉強に強い心で挑戦してくださいね。

そして、わたしたち女子プロレスを応援してください。わたしとそして仲間たちを……。リングより愛を!!

昭和57年　初夏

《ファンレターのあて先》
〒156 東京都目黒区下目黒2の17の17
全日本女子プロレス興業株式会社内



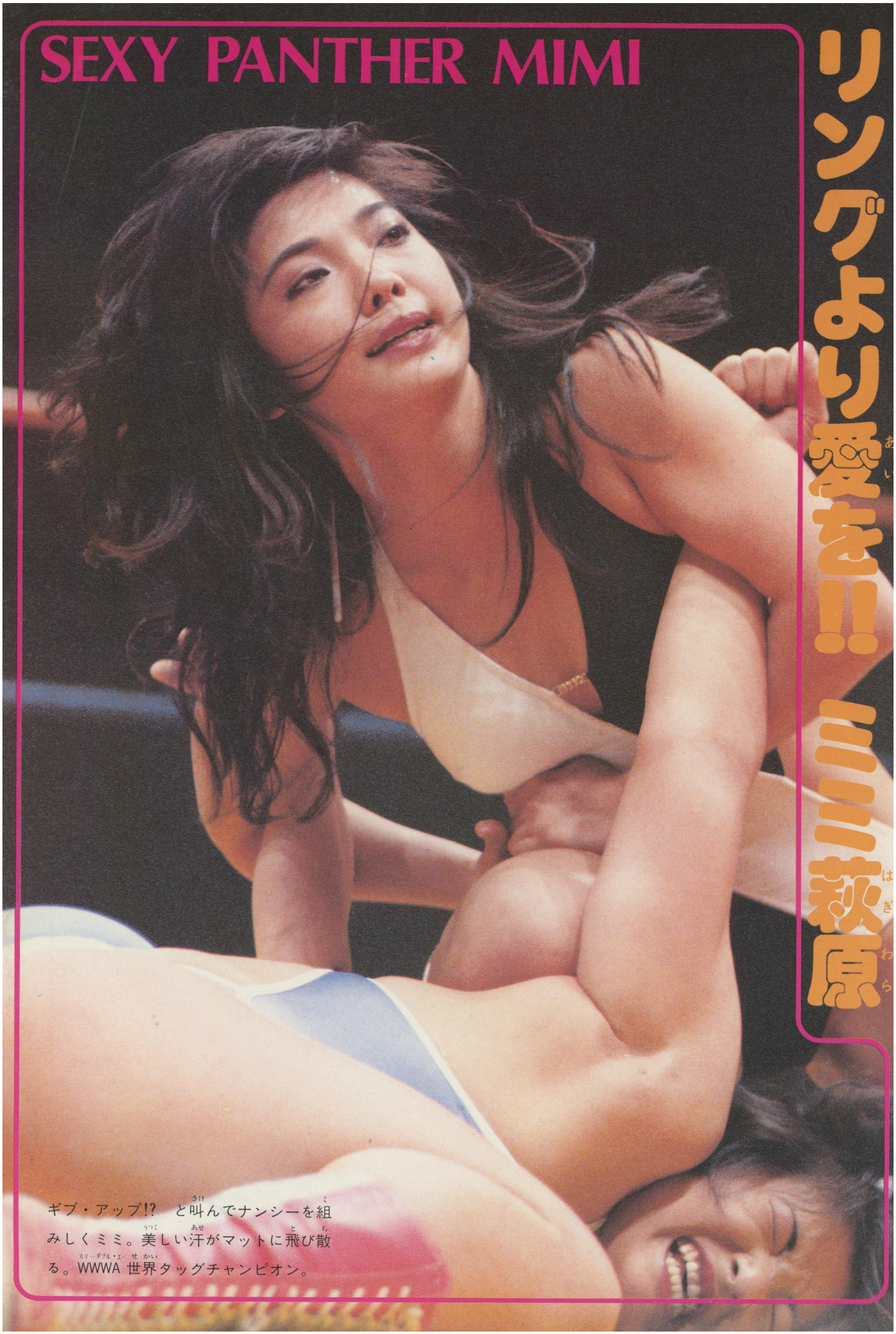
もくじ

リングより愛を!!……9
ビューティフルファイター……30
闘う青春ー明日のホープ……38
レッツ・ゴー　ヤング・ギャル…41
ミミ・グラフィティ……57
ブラック軍団が行く!!……65
女子プロレスラー24時間……68

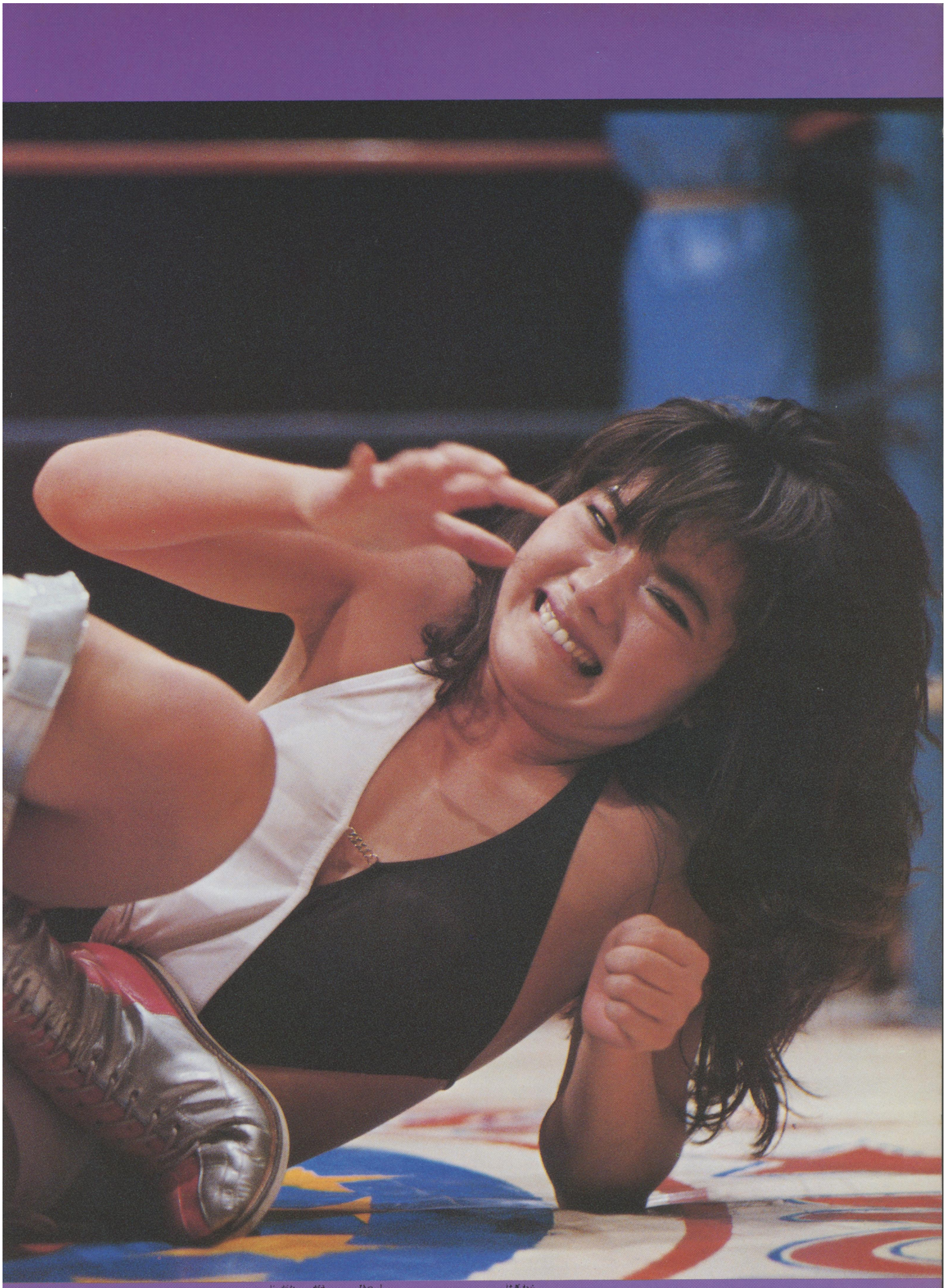
協力／全日本女子プロレス興業　構成／吉本幸夫事務所 ©秋田書店

SEXY PANTHER MIMI

リングより愛を!! ミミ萩原



ギブ・アップ!? と叫んでナンシーを組みしくミミ。美しい汗がマットに飛び散る。WWWA世界タッグチャンピオン。

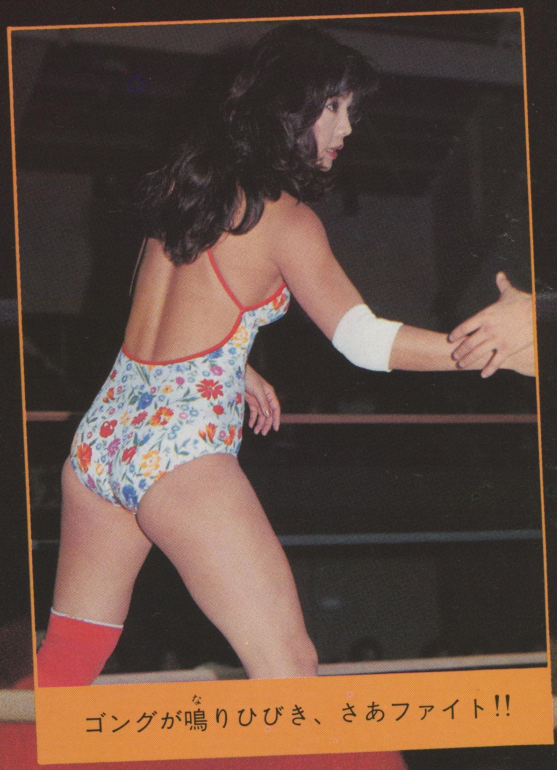


4の字固め返しを必死にこらえるミミ萩原。この苦しげな表情がファンにはたまらない魅力だ。

闘志を秘めてリング上で作戦を練る。

さっそうと右手をあげて
観衆にあいさつ。

ファンの熱いまなざしを痛いほど浴びて立つミミ萩原。その姿は、とってもオンナっぽい。でも敵をにらむ目つきは鋭い。

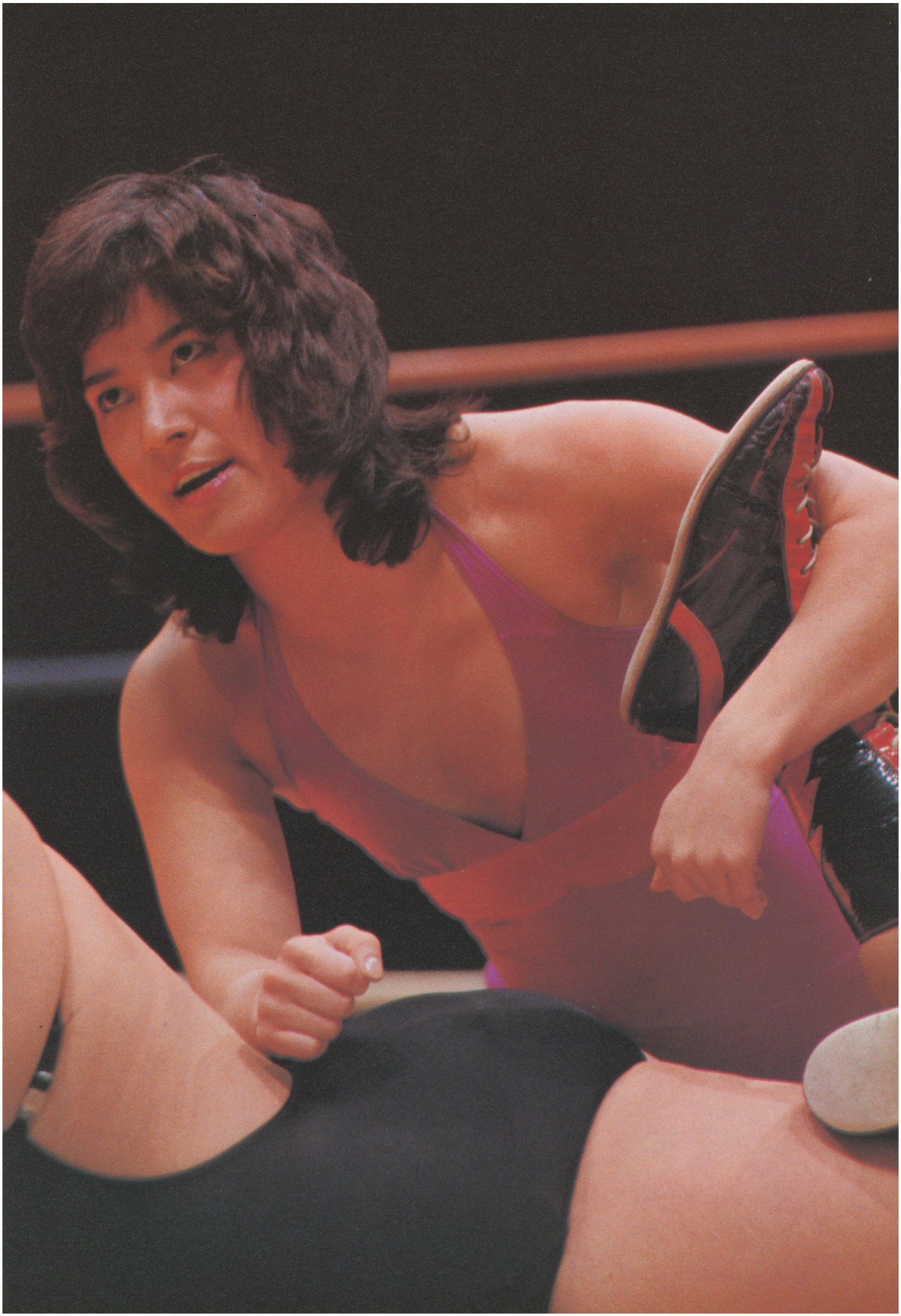


ゴングが鳴りひびき、さあファイト!!

SUPER JAGUAR

タイトルジャッカー!!
ジャガー横田

次々とタイトルを奪い、無敗のまま返上してついにはWWWAシングルの世界王座をジャッキーから獲得したジャガー横田。タイトル・ジャッカーとも呼ばれている。しかし素顔は、今年晴れて成人式を迎えた、話しの分かるお姉さんタイプだ。



東京・荒川で育った下町っ子のジャガーは心がアッタカイ。後輩のレスラーにも尊敬されている。

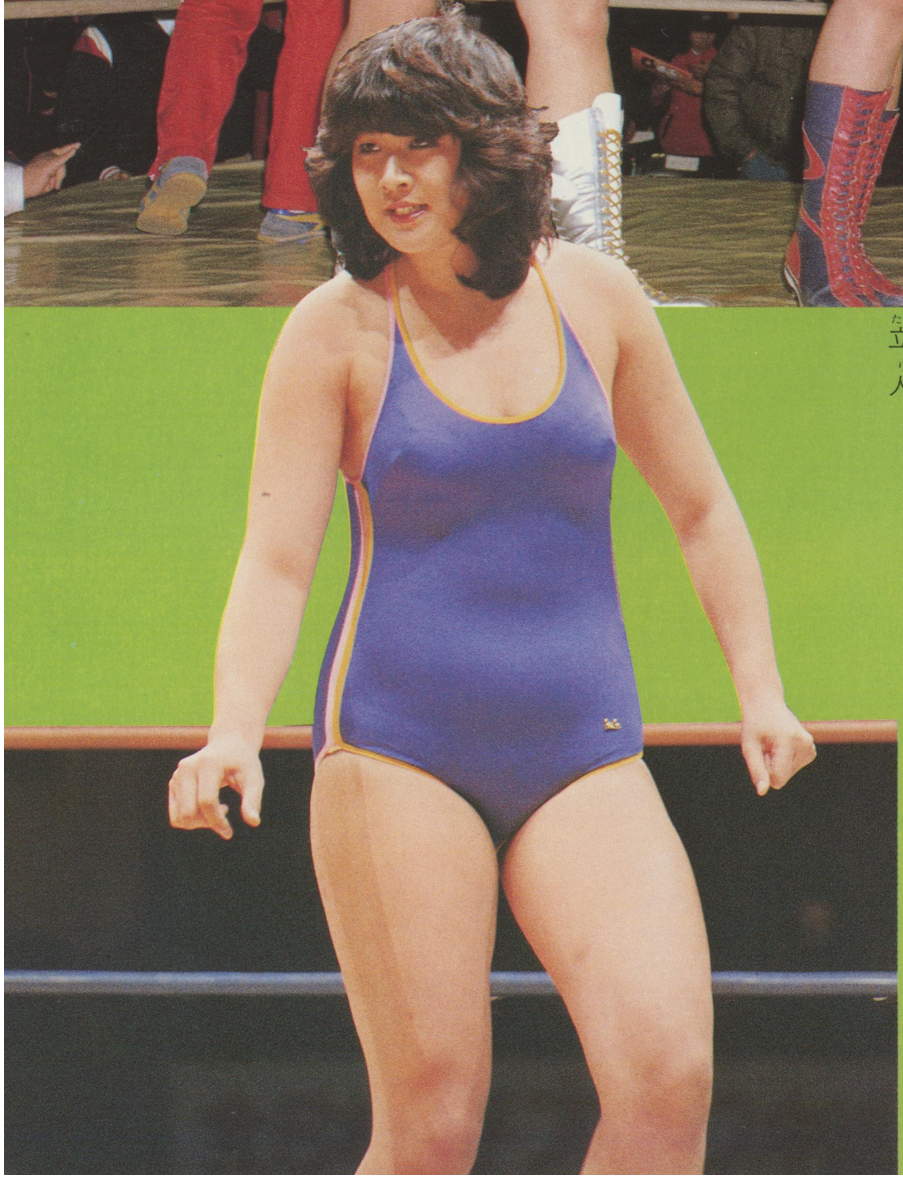
スピード!!　スリル!!　そしてテクニック。小さな体でリングいっぱいに動きまわり、大きな敵を倒すジャガー横田。

SUPER JUMBO

ことしこそタイトルを!!
ジャンボ堀

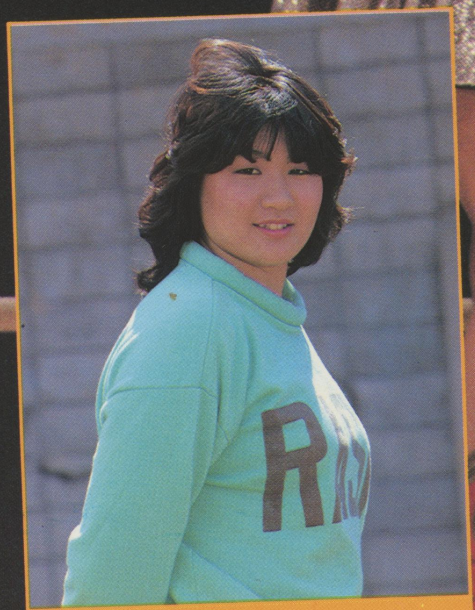
中学時代はバレーのアタッカー。えくぼの可愛い夢見る少女から闘うギャルへ。ナンシーと持っていたWWWAタッグ選手権をミミ・大森組に奪われた。タイトルへ再度挑戦だ。

立野記代、山崎五紀との変則マッチで堂々と二人を敗り、高々と手をあげるジャンボ 堀。



身長180㌢、体重80㌔、女子プロ軍団ではNo.1パワーとスケールは外人に負けない。

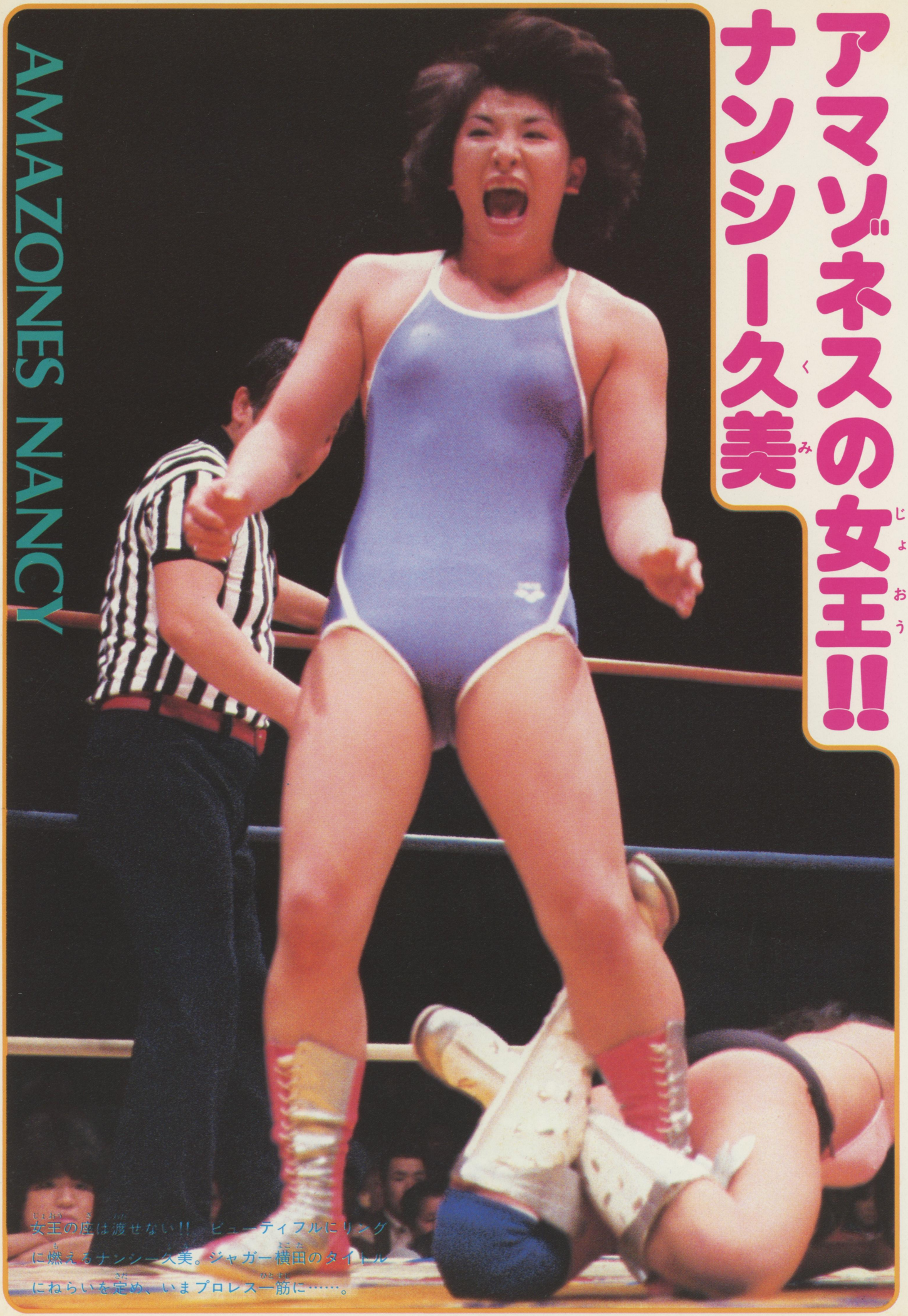
外人パワーもおじけづく、大森ゆかりとのタッグ・コンビ。



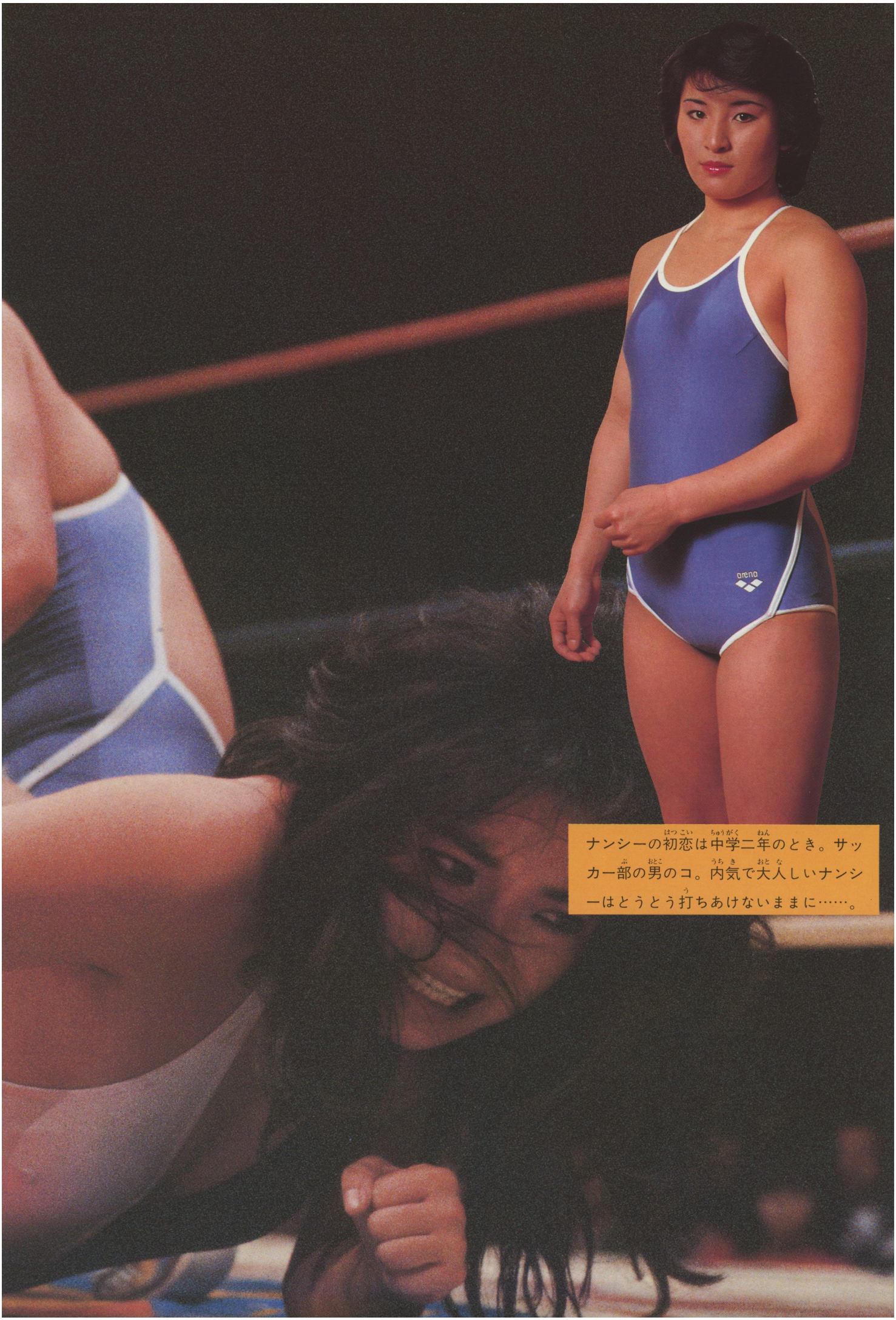
ニックネームはアンミ、ゴッツ、ケレンなどといろいろ。体は大きくても気持ちはカワユーイのだ。

アマゾネスの女王!!
ナンシー久美

AMAZONES NANCY



女王の座は渡せない!! ビューティフルにリング
に燃えるナンシー久美。ジャガー横田のタイトル
にねらいを定め、いまプロレス一筋に……。

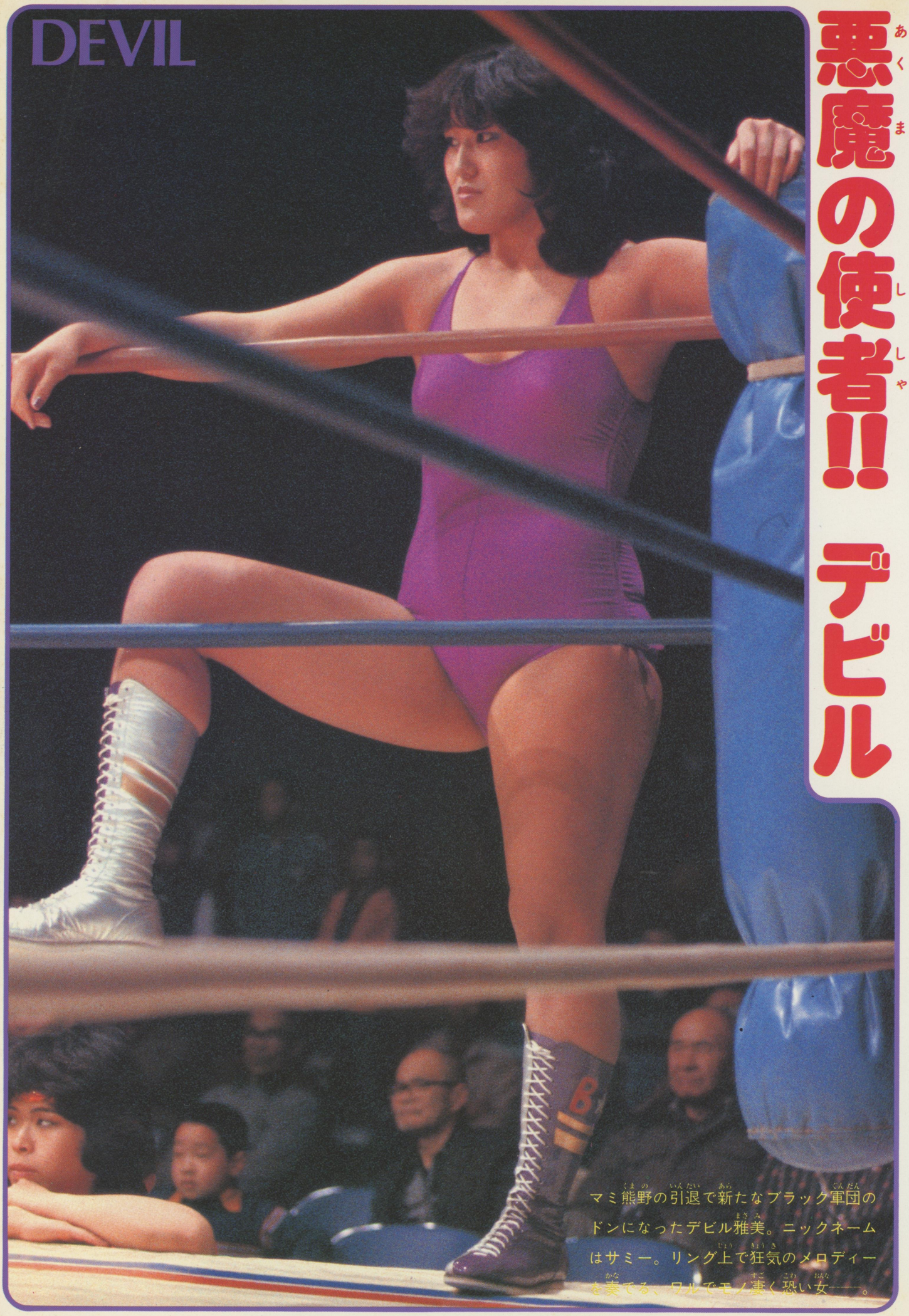


ナンシーの初恋は中学二年のとき。サッカー部の男のコ。内気で大人しいナンシーはとうとう打ちあけないままに……。

ミミ萩原との試合では、久しぶりにラフ・ファイト。無冠となった今、優しい心よりもガッツだ!!　女子プロをひきいるのはこの私だという思いがさらに闘志を燃やす。

今、ナンシーがステキだと思っているヒトは巨人軍の原辰徳。「目がとっても好き!!」

ナンシーが友だちにしたい男のコは、心の強い人。自主性のある人。お父さんのような人。大好きなそのお父さんも、女子プロに入って一年目に亡くなった。リングで戦っているところや歌をうたっている姿を見せたかったというナンシー。悲しみを乗り越え、さあ明日に向かって、GO!!　チャレンジだ!!



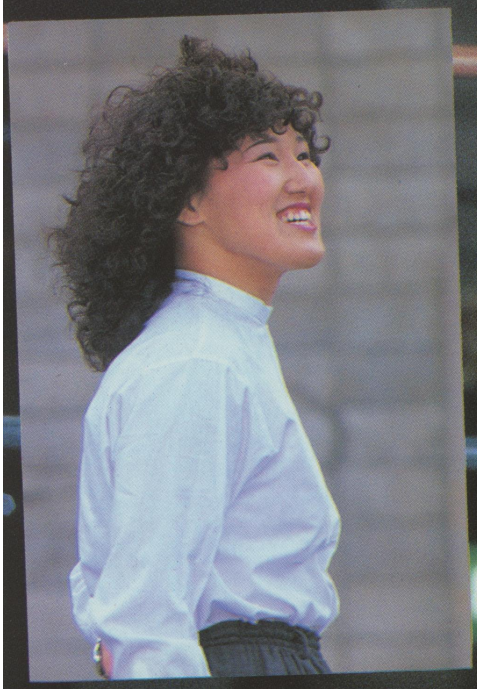
悪魔の使者!! デビル

マミ熊野の引退で新たなブラック軍団のドンになったデビル雅美。ニックネームはサミー。リング上で狂気のメロディーを奏でる、ワルでモノ凄く恐い女――。

木刀を持ってサミーがリングに上がっただけで、場内はシーンと静まる。敵に恐れられているが味方にはとても尊敬されている。タッグ・マッチのときは、仲間の心を読み、素早く作戦を組み立て助けてくれる、強くて頭の回転が早いサミーなのだ。

素顔のサミーは音楽がとっても好き。ヒマがあったらエレクトーンや三味線、ペン字などを習ってみたいという。また、後輩のめんどうをよく見る。とっても優しいお姉さん。そんなヒトがどうしてリングで荒れ狂うのか、女子プロ七不思議の一つだ。

サミー＝デビル雅美にも初恋はあったさ。でも今はすべてのタイトルをブラック軍団の手にするんだ。そしてたった一人で育ててくれたママを安心させたい。寂しさとハングリーさをリングで吹っ飛ばしていく。そんなクールなサミーにファンはシビれる。

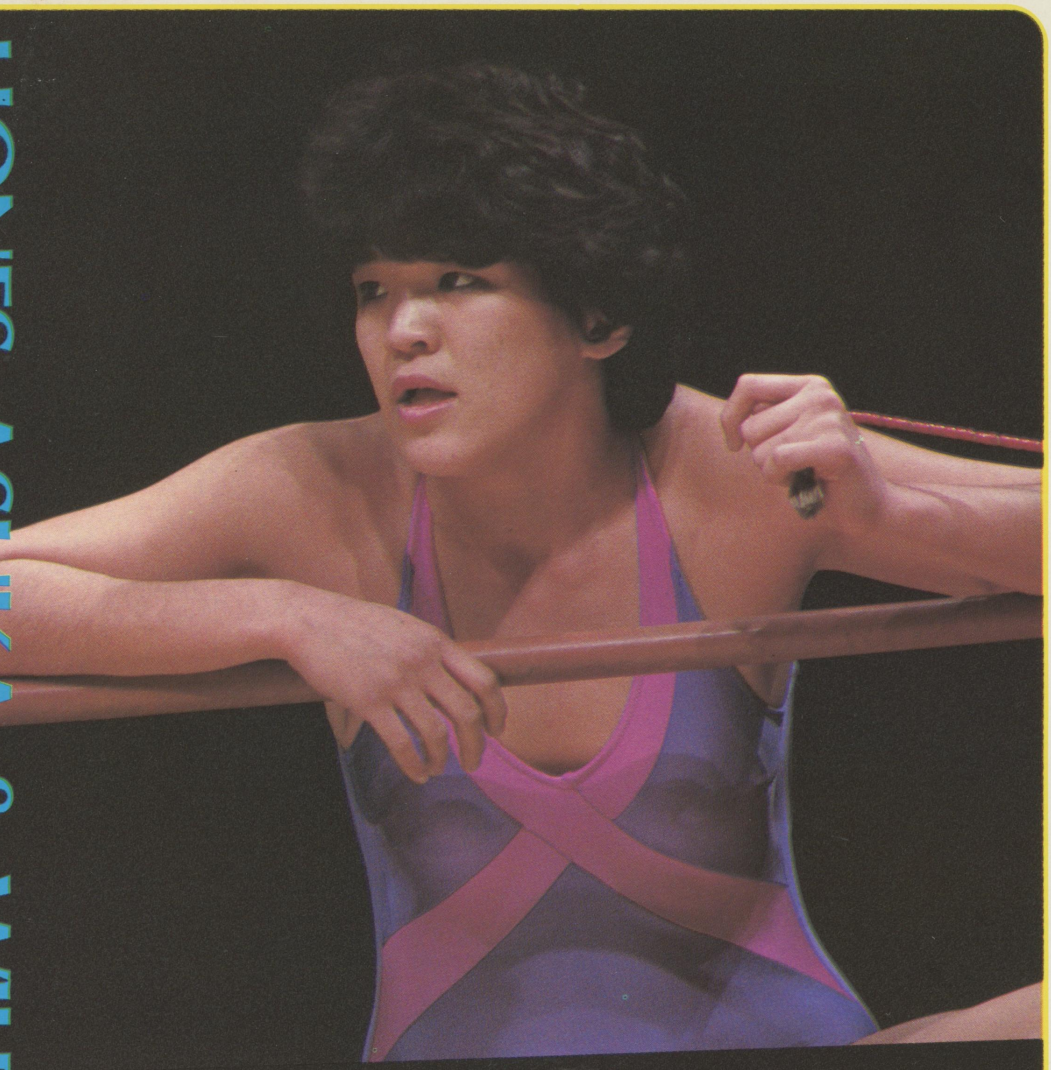


パワー・テクニシャン ライオネス飛鳥、ワイルド香月

(上)

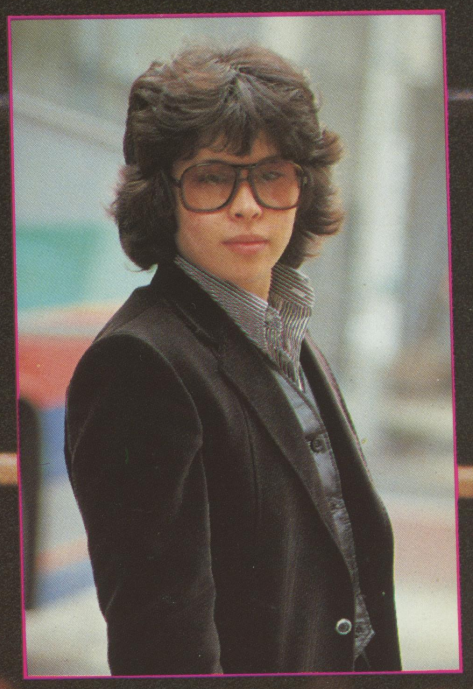
(下)

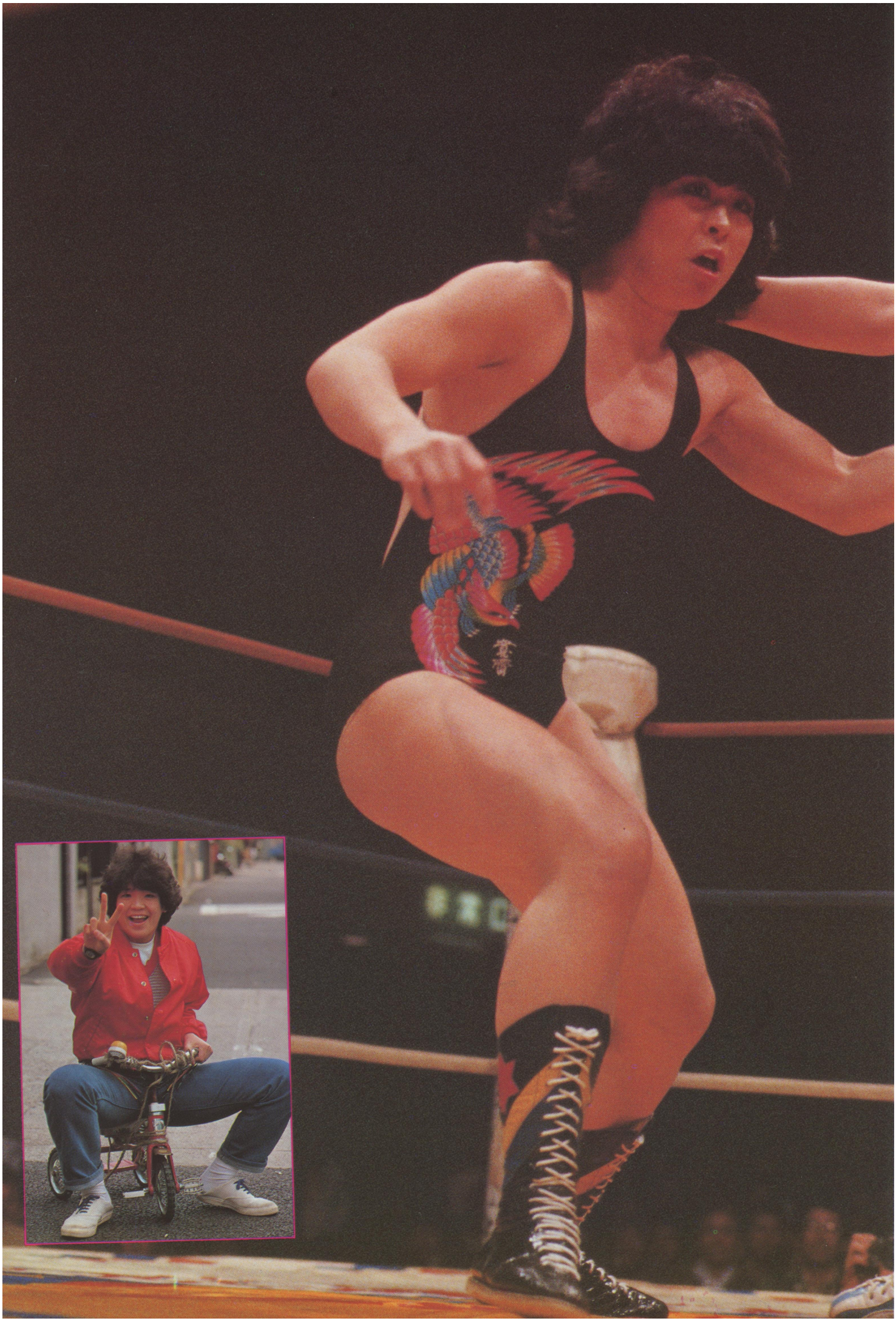
LIONES ASUKA & WILD KAZUKI

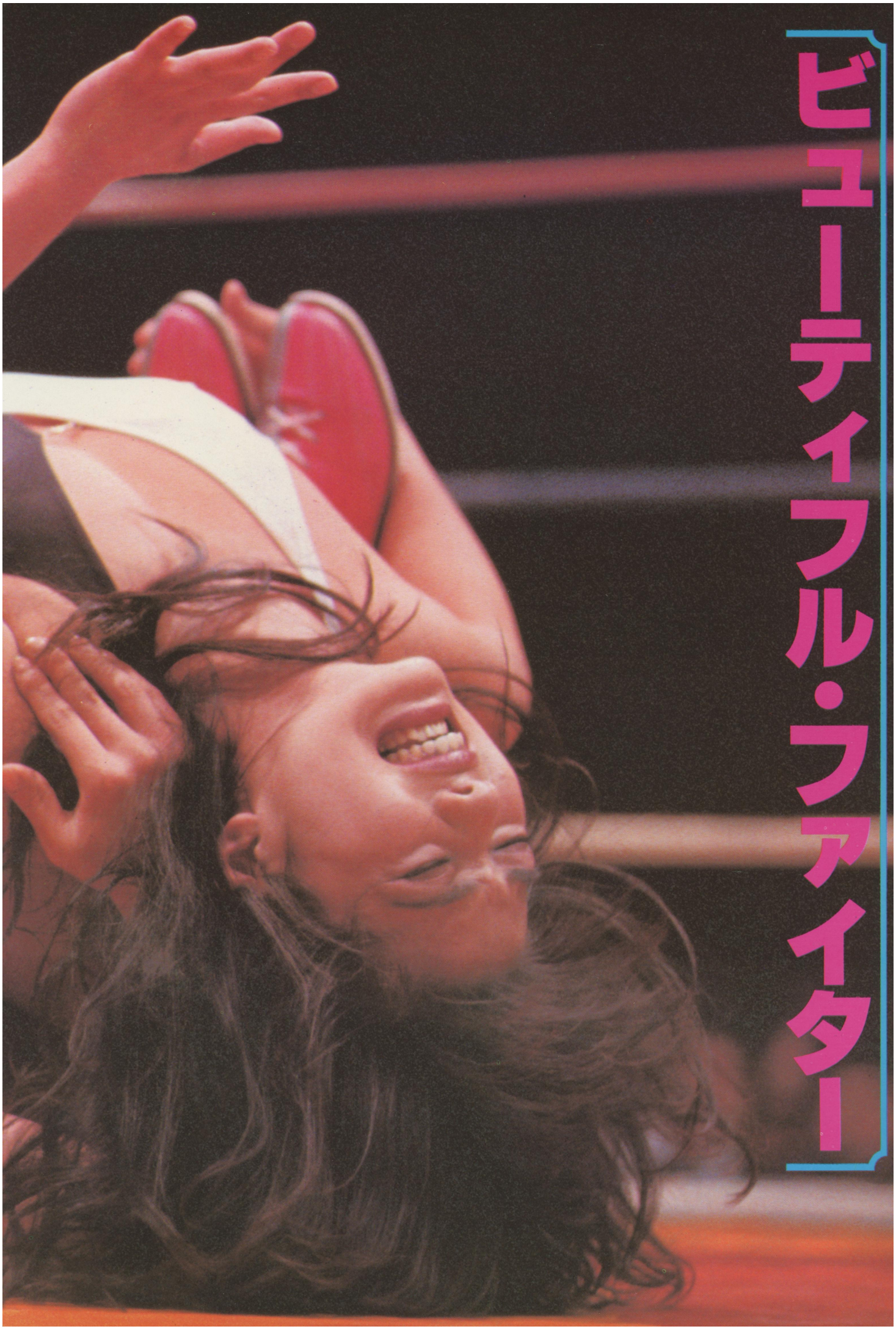


ジャッキー二世・ライオネス飛鳥は獅子座の生まれ。田原俊彦のファン。女子野球のニューヤンキース練習生から女子プロ入りしたスポーツ万能ギャル。彼女のライバルは大森ゆかり、そしてブラック軍団のワイルド香月だ。ブラックの副将・ワイルド香月は池下二世といわれる。水瓶座の生まれ。ファラ・フォーセット・メジャーズのファン。ちょっぴり顔が似ているから。スポーツ万能。パワフルファイター。ライバルは大森ゆかり。そしてもちろんライオネス飛鳥。

ライオネス飛鳥の得意技はブレーン・バスター、ジャイアント・スウィング、ドロップキック。170㌢、64㌔。ワイルド香月について「細かいテクニックと動きが早く、反則も徹底している。私とは正反対のタイプ」と語った。ワイルド香月は飛鳥を「競走相手だし絶対に負けたくない」と敵がい心を燃やす。共に明日の女子プロをになう二人。これまでの勝負は五分と五分だ!!
香月の得意技はドロップキック、ネックブリーカー・ドロップ。



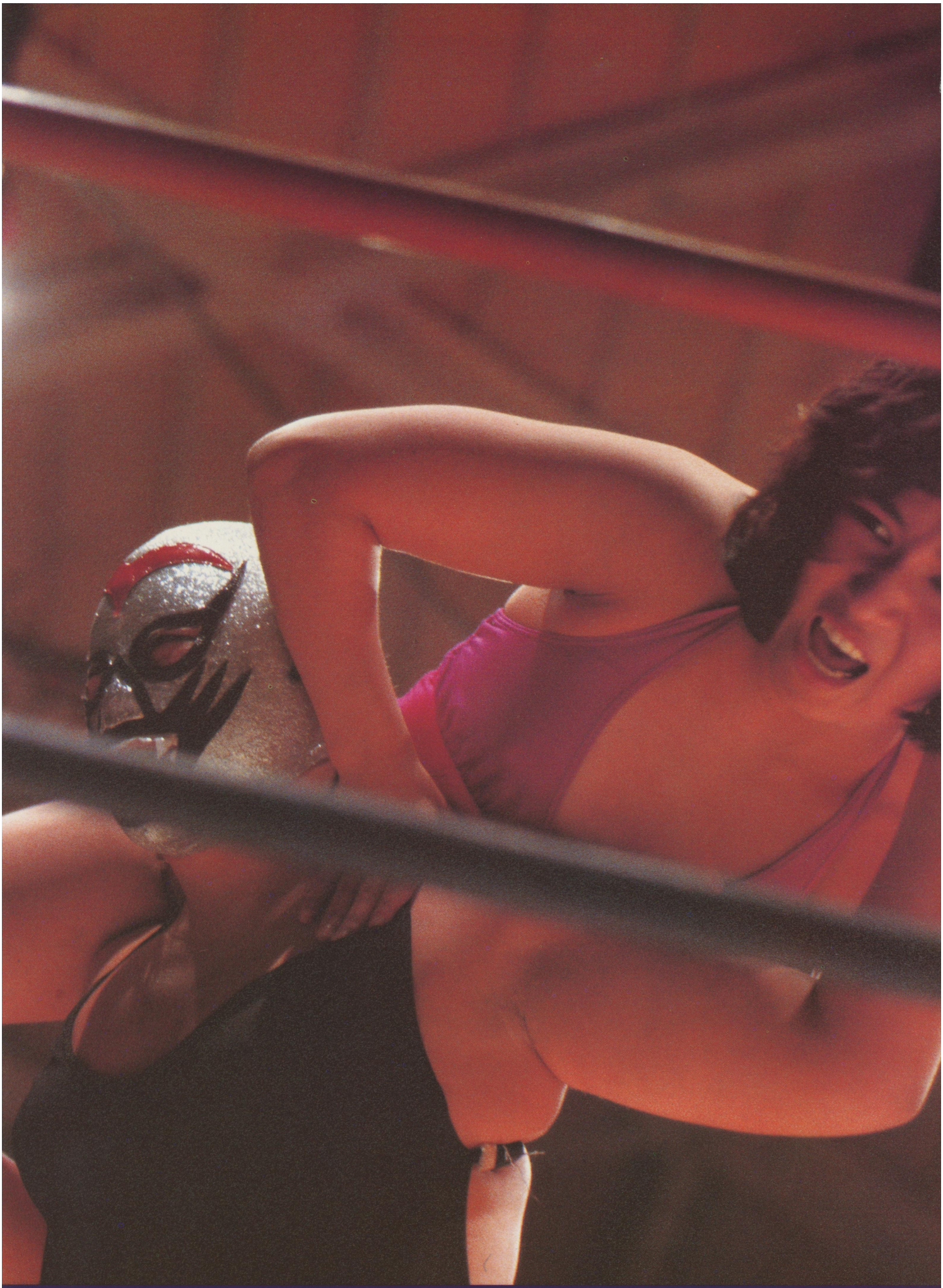



ビューティフル・ファイター

熱闘フォトアルバム
燃えろリング

激しい執念でぶつかりあう。

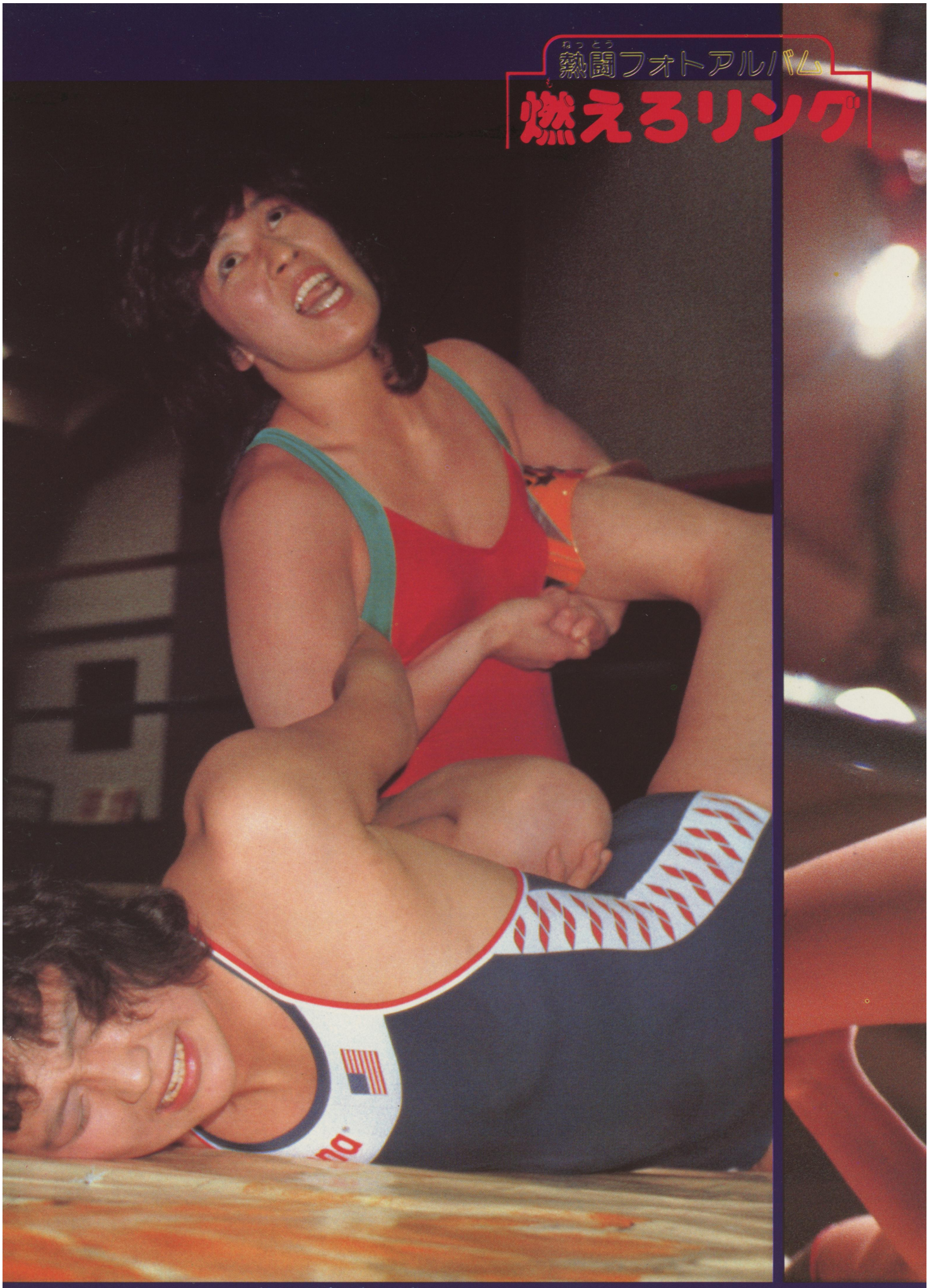
ナンシー久美、ミミ萩原の背骨を攻める



マスク・ド・ユウ、軽量のジャガ
ーをたかだかと飛行機投げに……。

熱闘フォトアルバム

燃えろリング

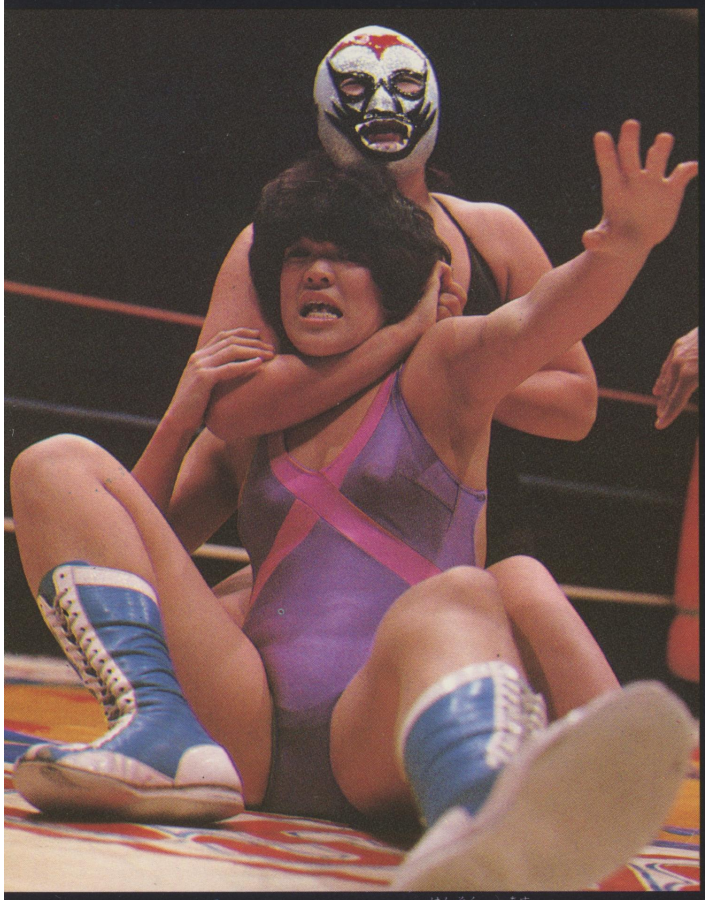


ジャガー横田の変幻自在の攻撃に相手はたじたじ。

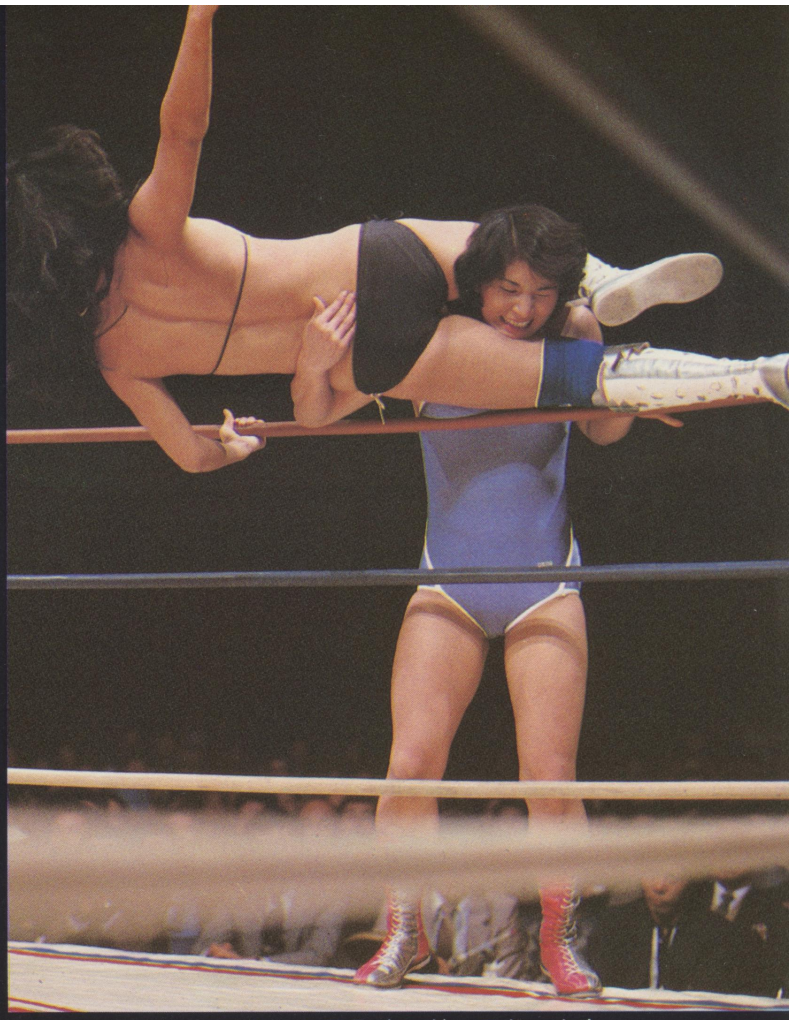
熱闘フォトアルバム

燃えろリング

デビル＝サミー、恐怖の木刀攻撃!!

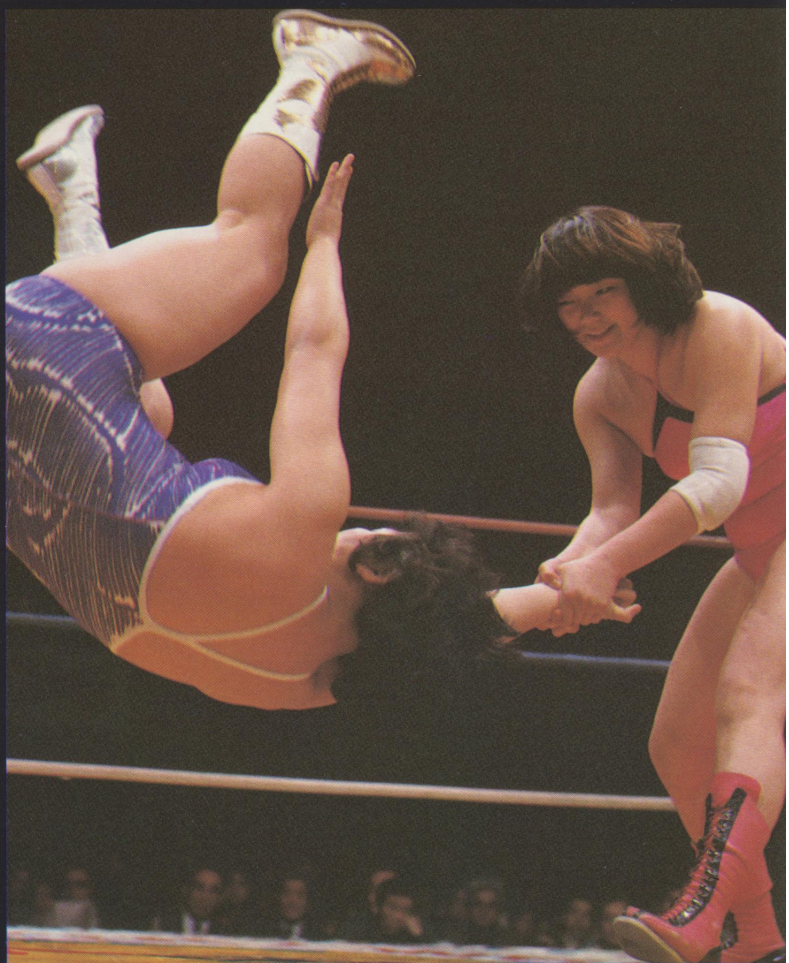


マスク・ド・ユウの反則に飛
鳥思わずロープに手を……。

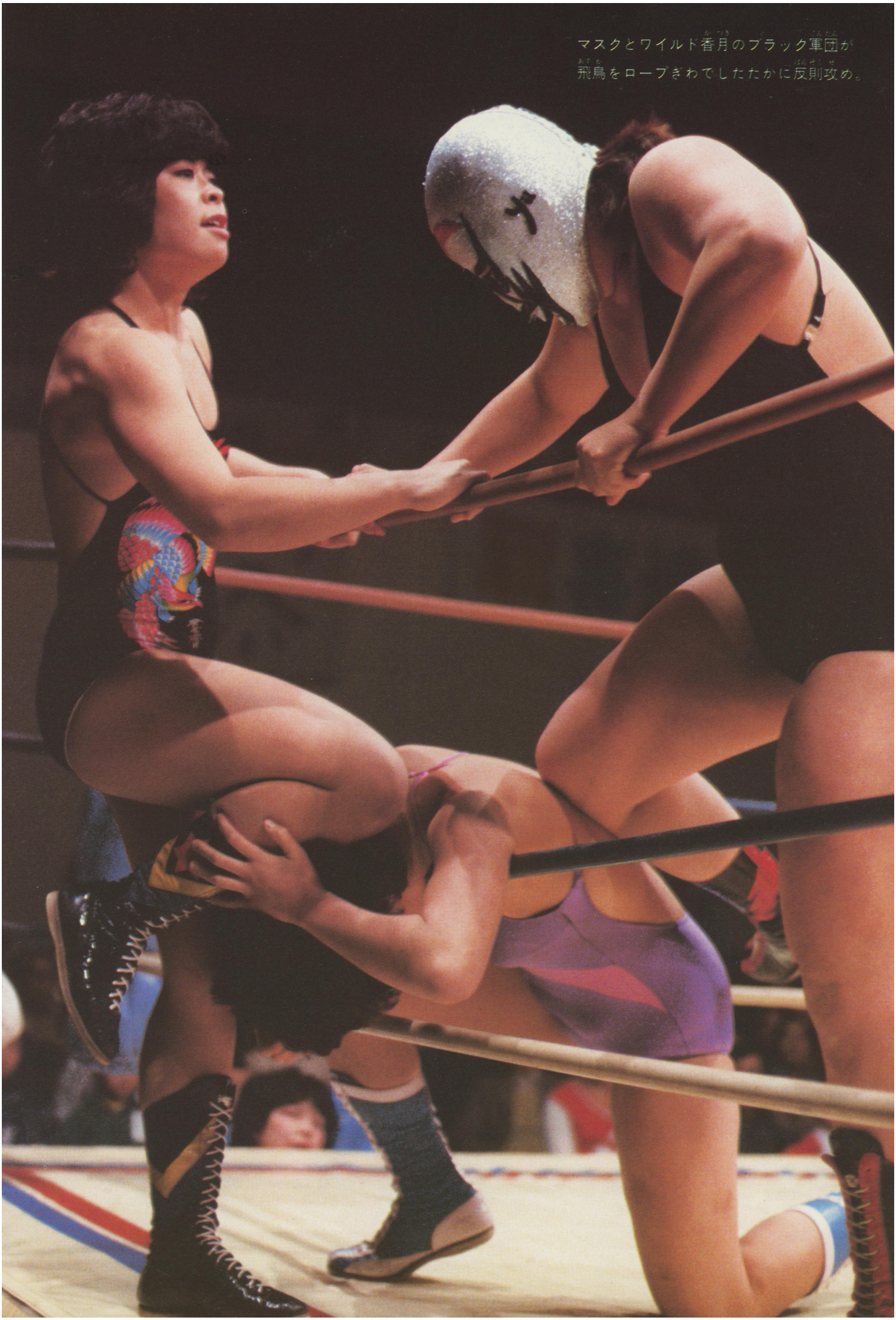


ミミのフライング・アタック！

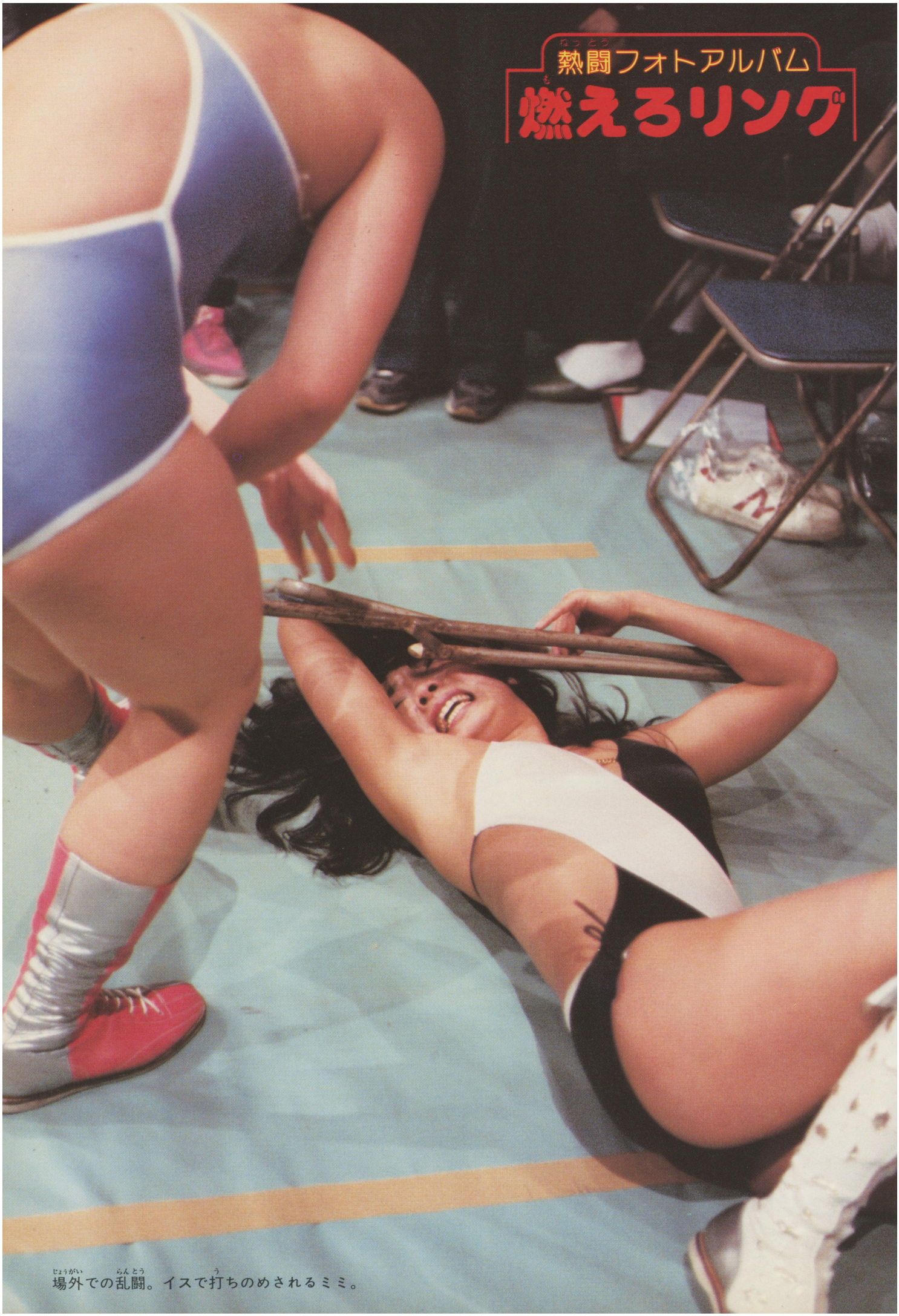
気を失ったミミを介抱する
飛鳥のほほも恐怖にゆがむ。



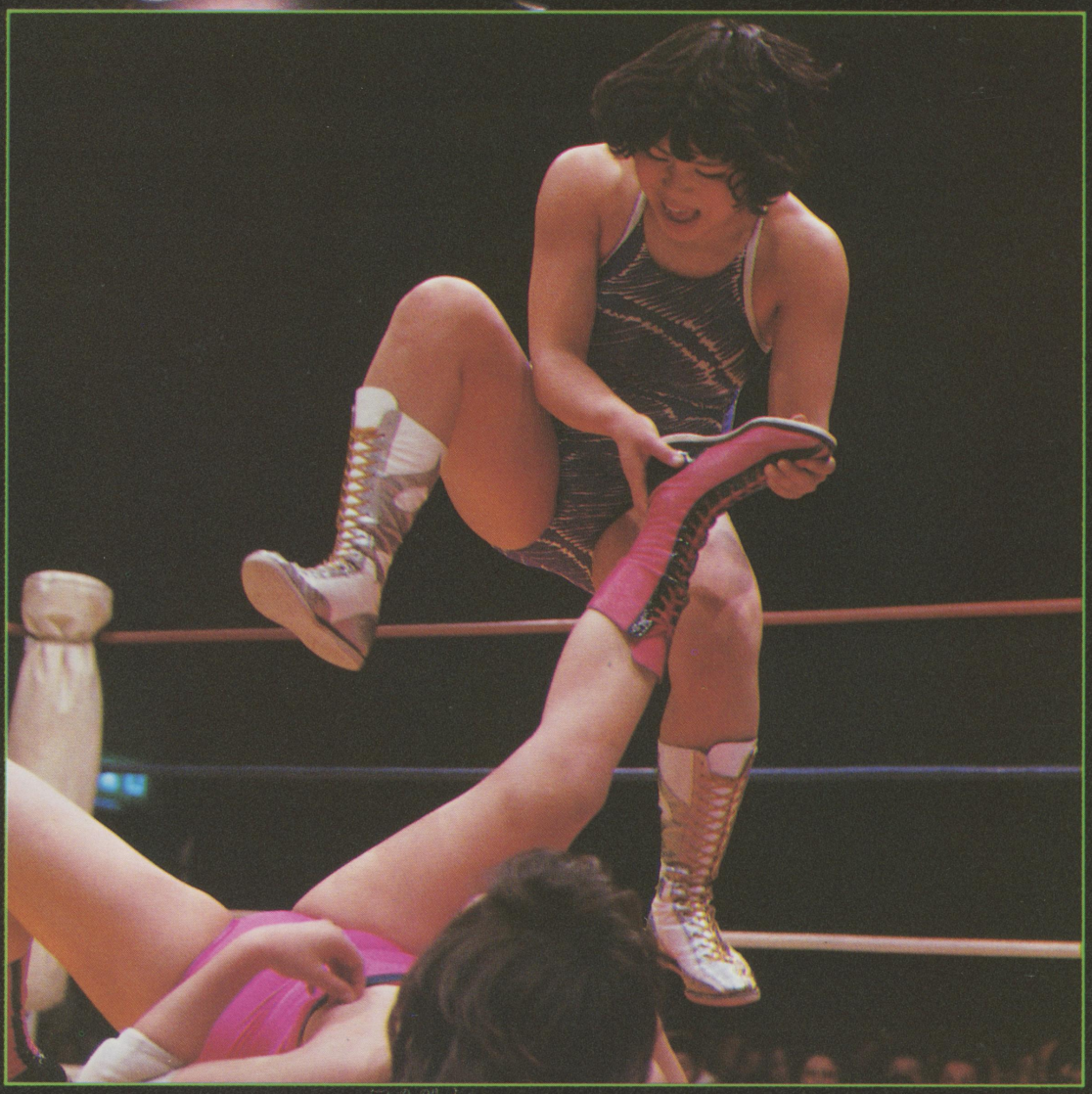
大森ゆかり、ハンマー投げ一発！



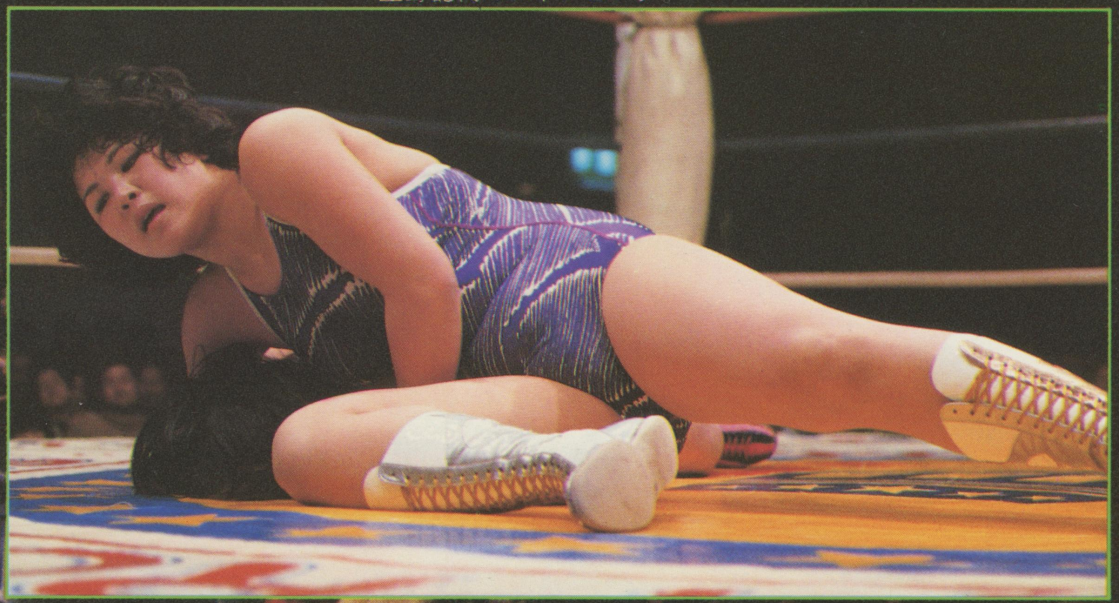
マスクとワイルド香月のブラック軍団が
飛鳥をロープぎわでしたたかに反則攻め。



場外での乱闘。イスで打ちのめされるミミ。



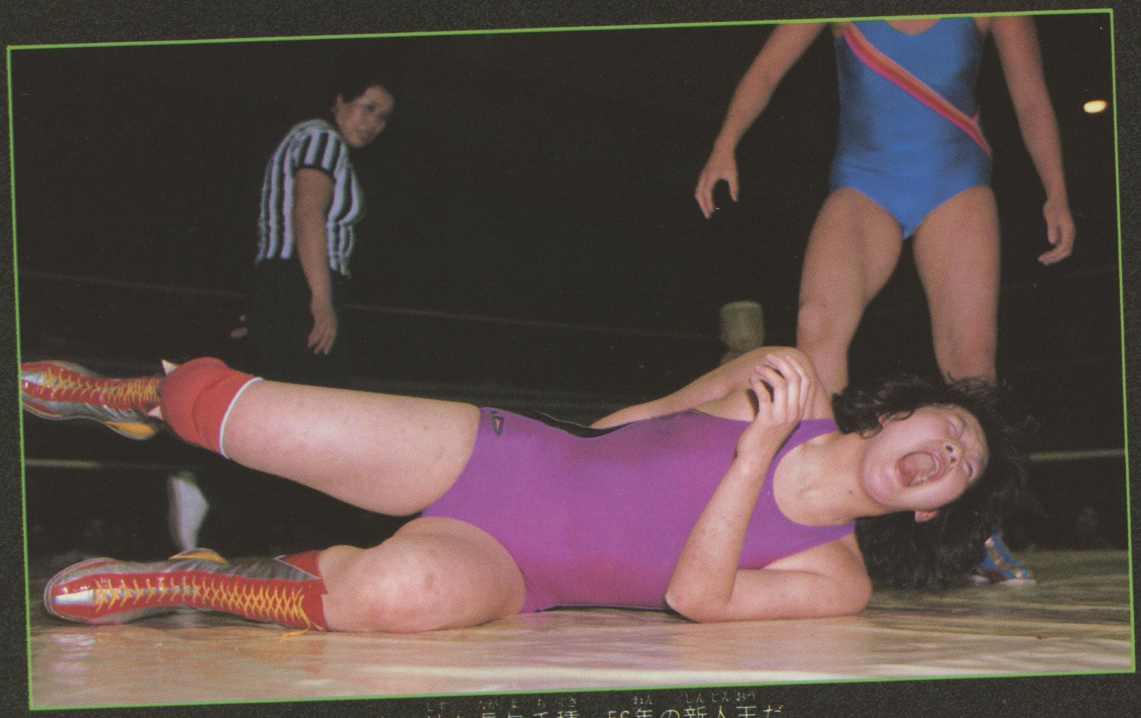
立野記代のストンピング



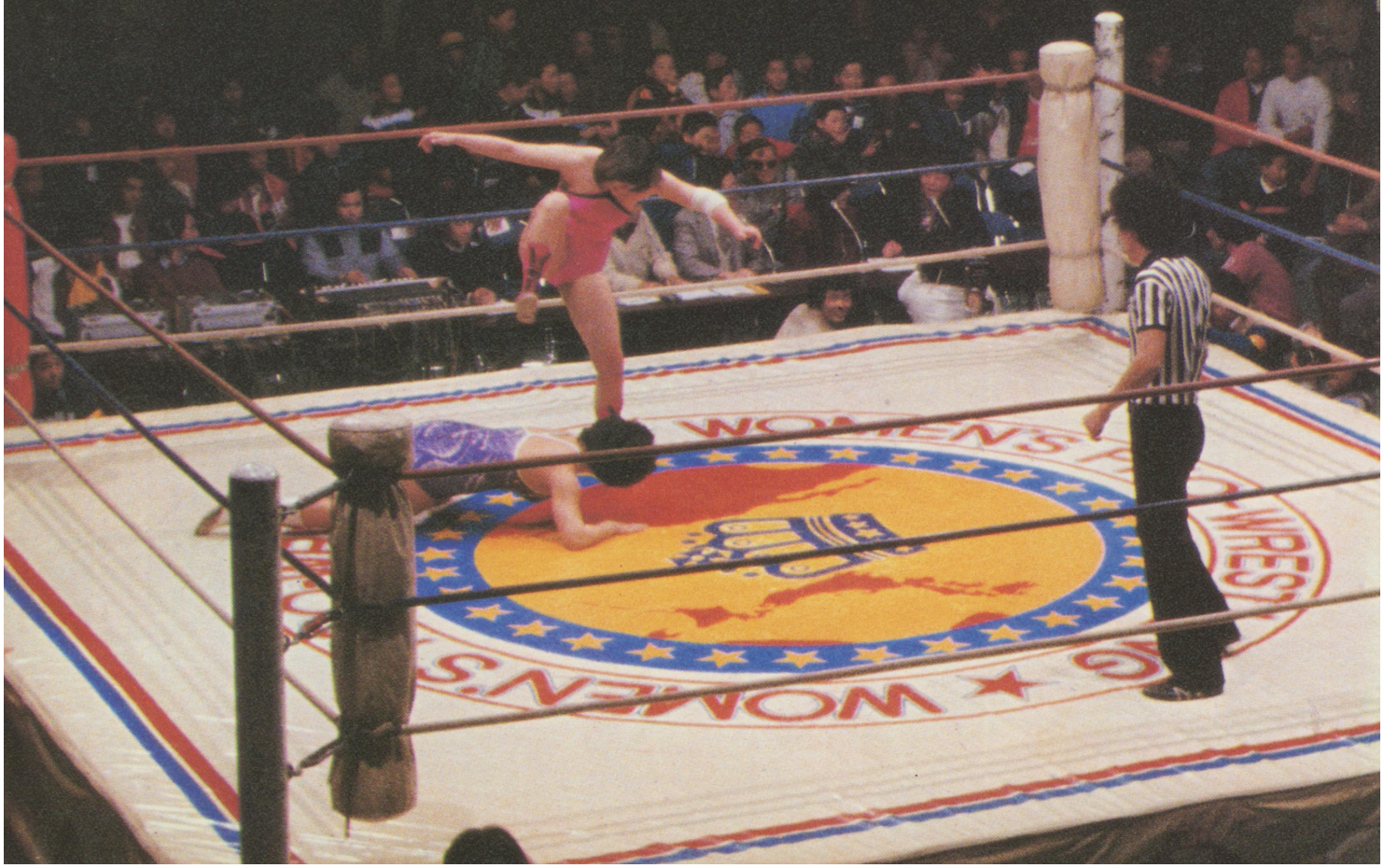
女子プロの聖子、立野記代のプリッ子ファイト

ライトと観衆の熱い視線を浴びるリング

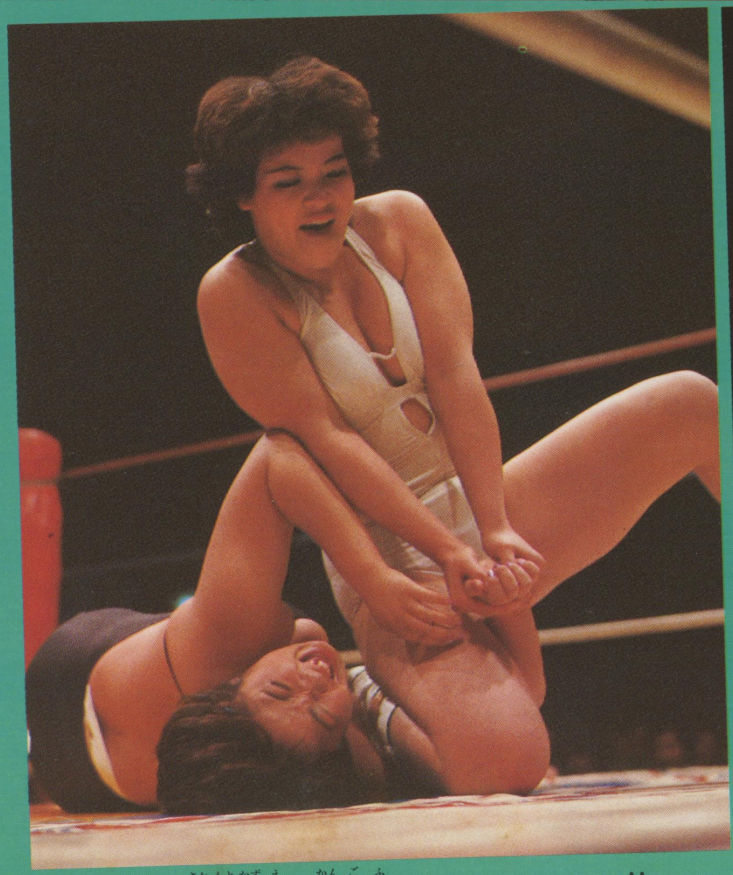
闘う青春！明日のホープ



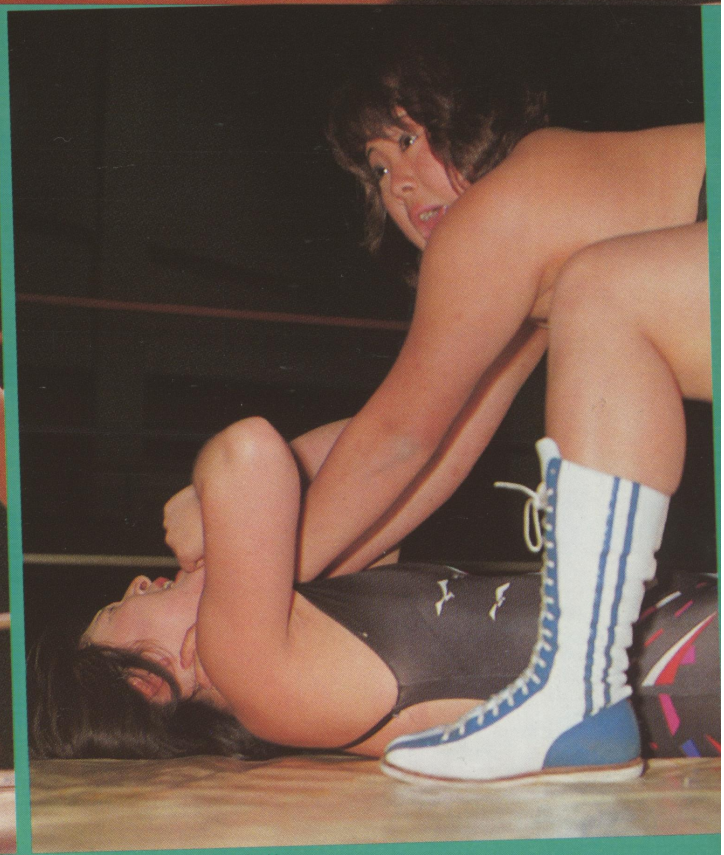
マットに沈む長与千種。56年の新人王だ。



坂本和恵(白のボディスーツ)と松本香のファイト。



坂本和恵は看護婦さんだったんだって!!

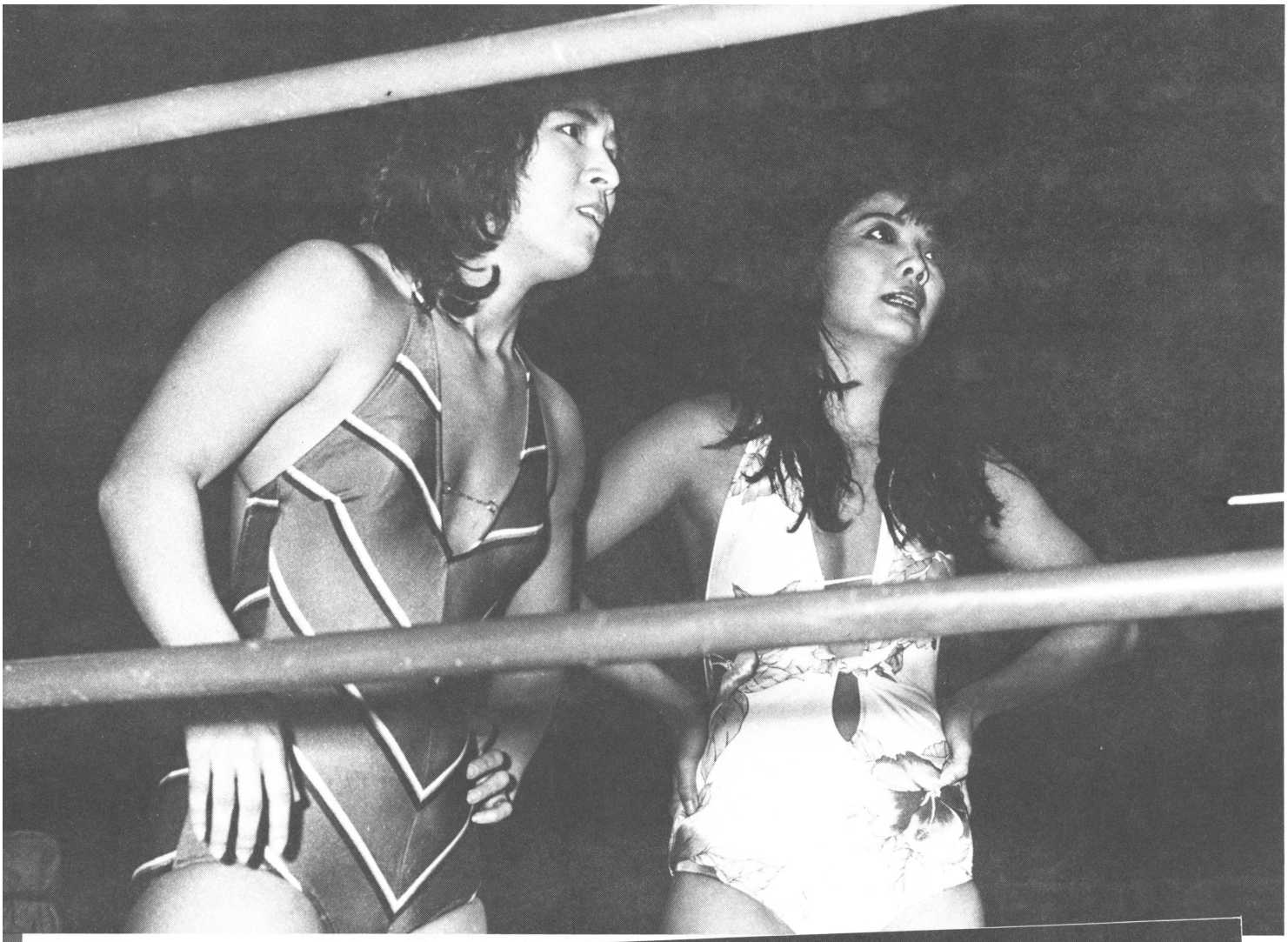


松本香のダイナマイトファイト。

レッツ・ゴー・ヤング・ギャル

わたしはチャンピオン!! ジャガー横田

チャンプ
わたしはチャンプ
キミの恋のチャンプになりたい
ガードは
キミのホットな心のテクニック



揺(ゆ)れるロープ　舞(ま)うプロレス魂(だましい)。

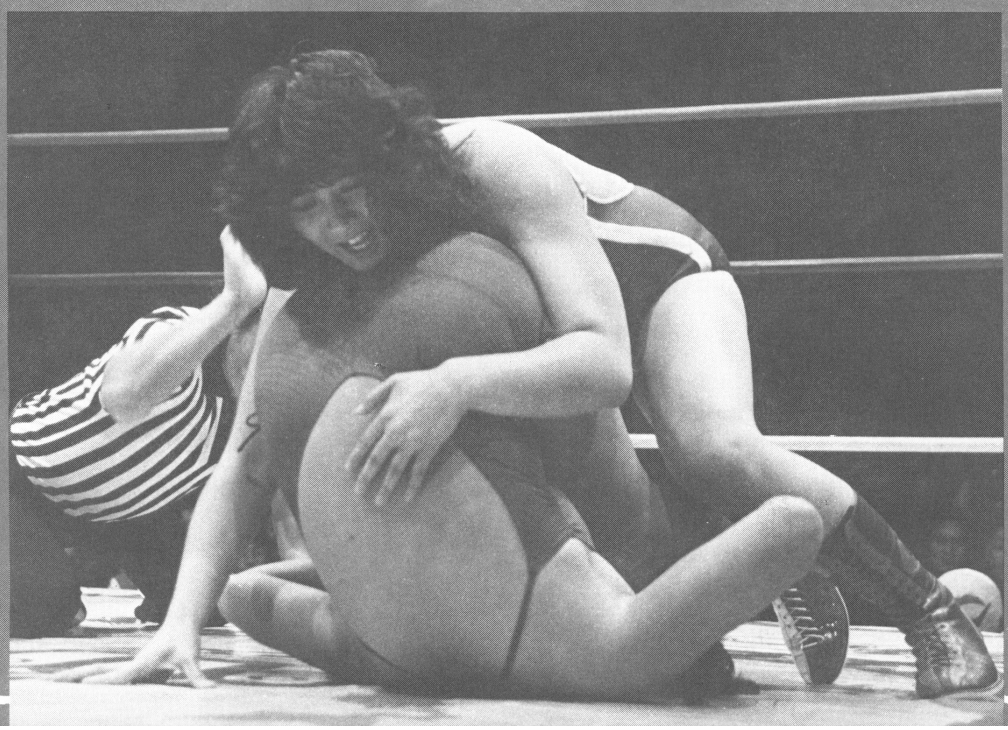
これがガクランキックだ。

サミーの悪魔の計画!?

デビルという名のブラック軍団

ブリッコはみいーんなブラック軍団の血祭りだ。

パワー全開 ジャンボ堀



ジャンボ堀が得意なもの。英会話、振り子落し。好きなもの、ちょうちょ。きらいなものはねずみ。両親には電話でコレクトコール。まだキミのハートが欲しいティーン・エージ。

恐怖のダイナマイトギャル

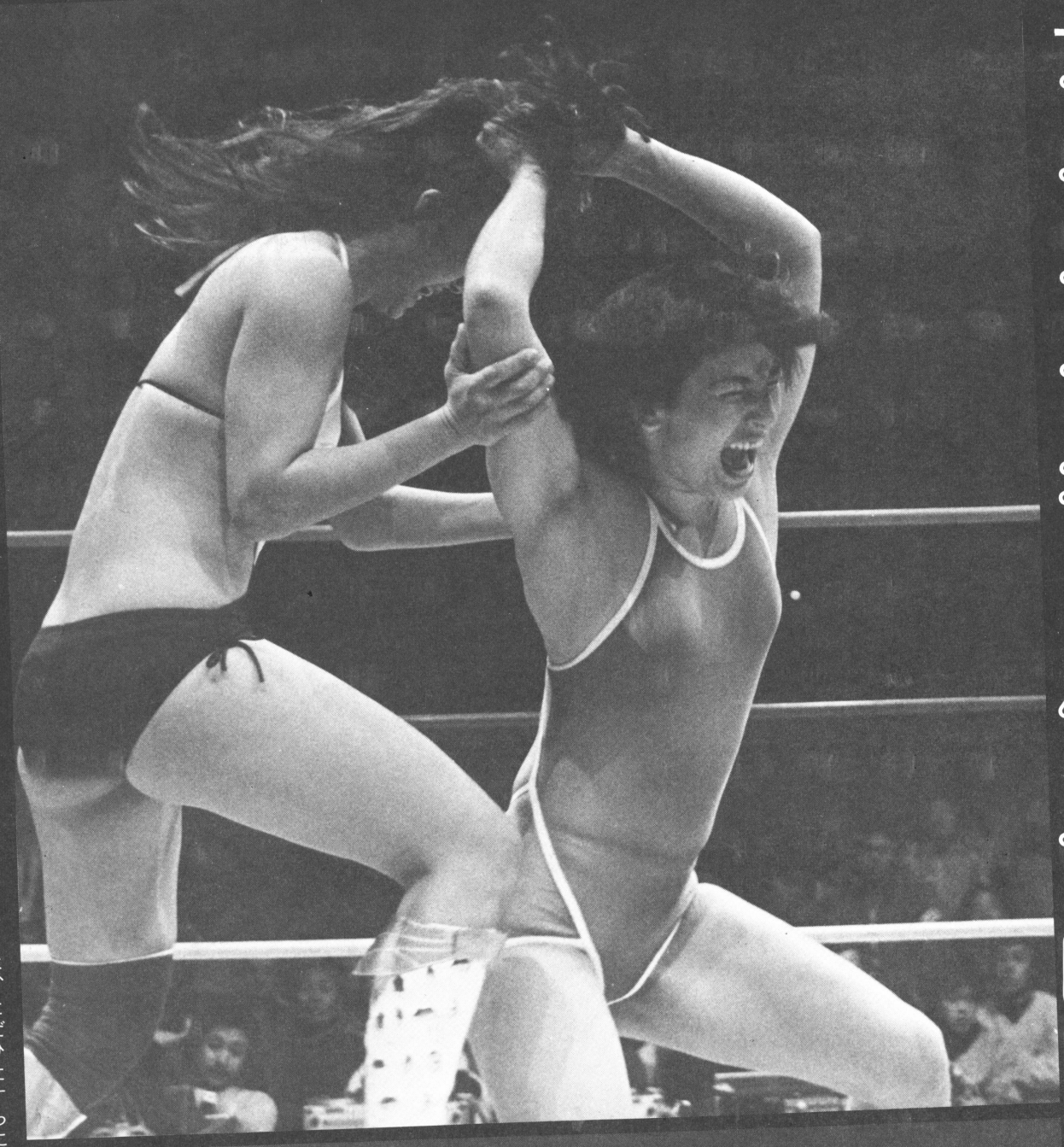
大森ゆかり

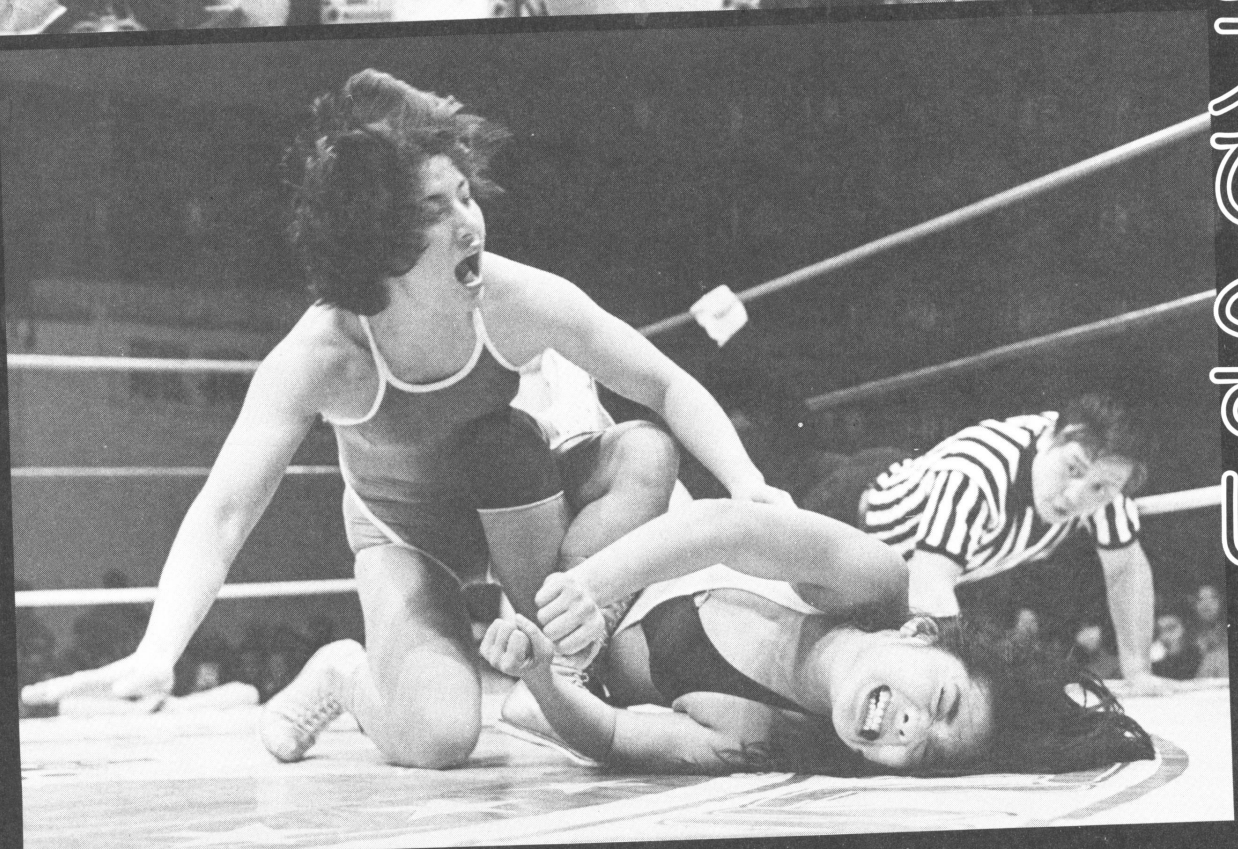
まだ小さい頃から格闘技が大好き。高校柔道北海道大会65キロ以上級で準優勝した。パワーは外人もたじたじで〝ボルケーノ〟といわれるほどだ。だけど今一番欲しいものは？と聞くとおムコさんと答えた。口紅はワインカラー。素顔はとってもカワユイ。

ナンシー久美

ナンシーが尊敬する人は、お姉さん。内気なナンシーとよく遊んでくれたから。それからジャンボ宮本さん。ハート、私生活、プロレスなどすべて教えてもらったから。

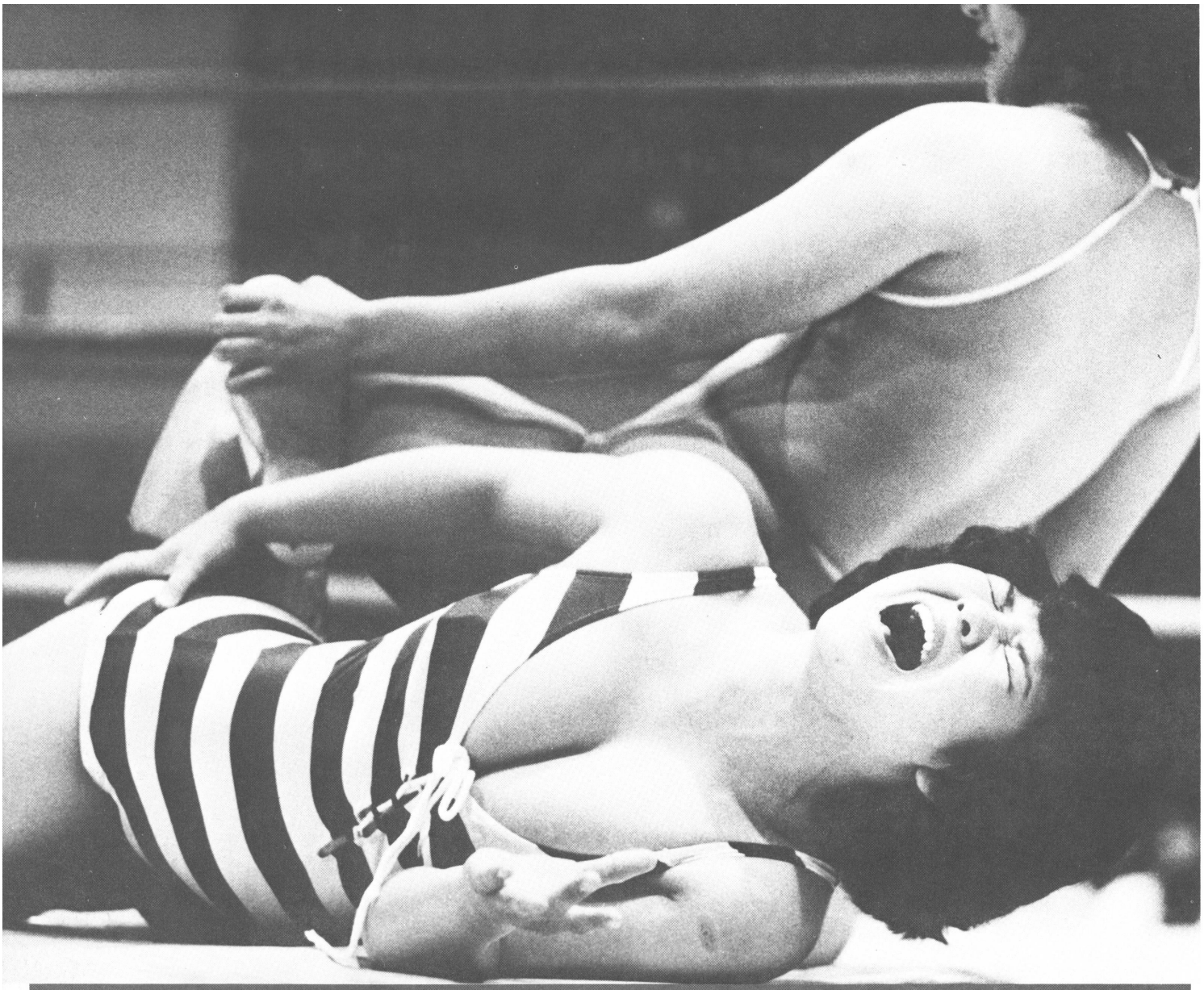
モテモテギャルはプロレスひとすじ





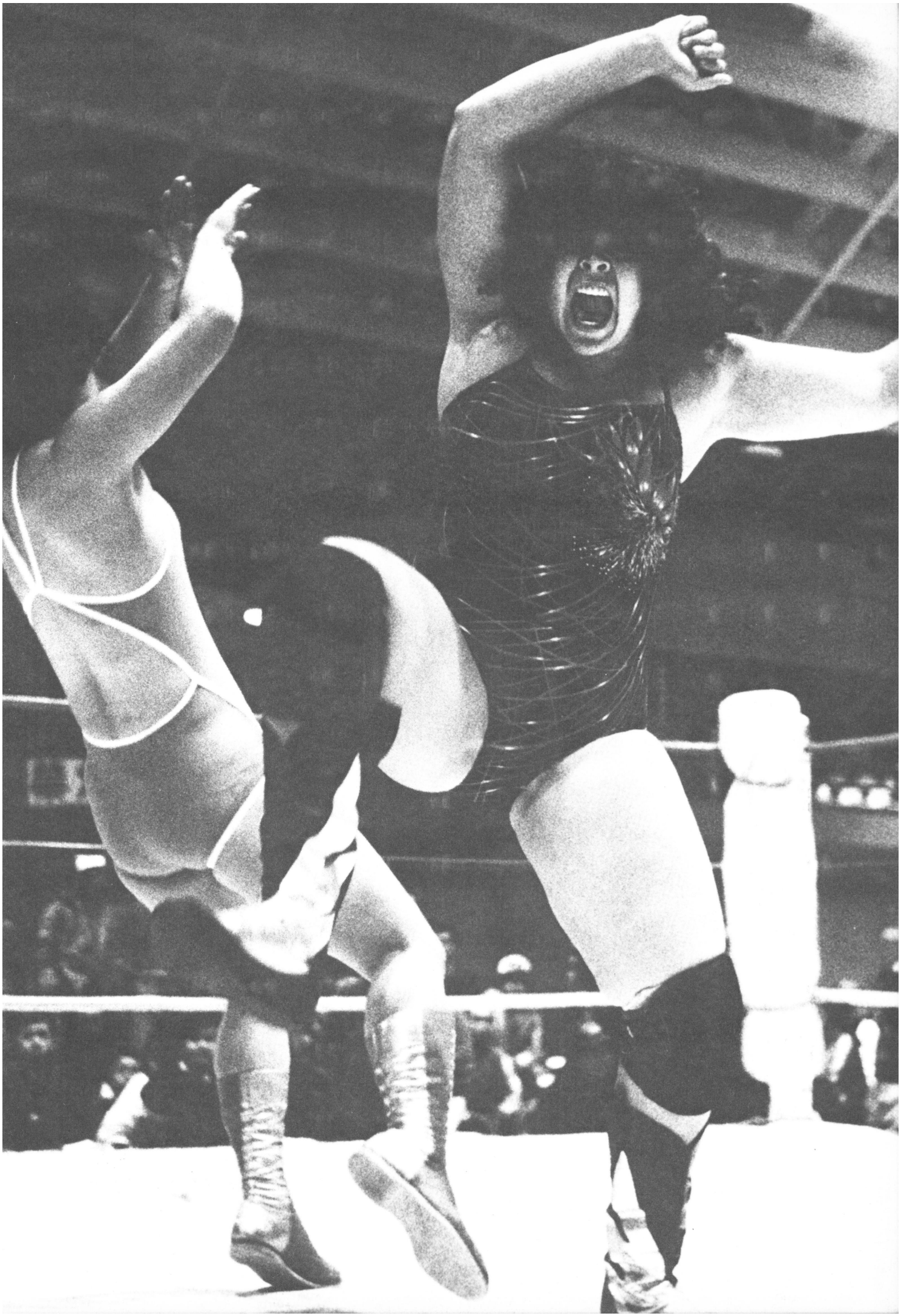
いまは、ただひたすらに、リングに青春を賭けて。

マスコットのゴリは4歳。4年前ハワイで買ってきた。そのとき一緒にいたビューティ・ペアはリングを去った。心のなかには女子プロのリーダーとしての自覚が……。



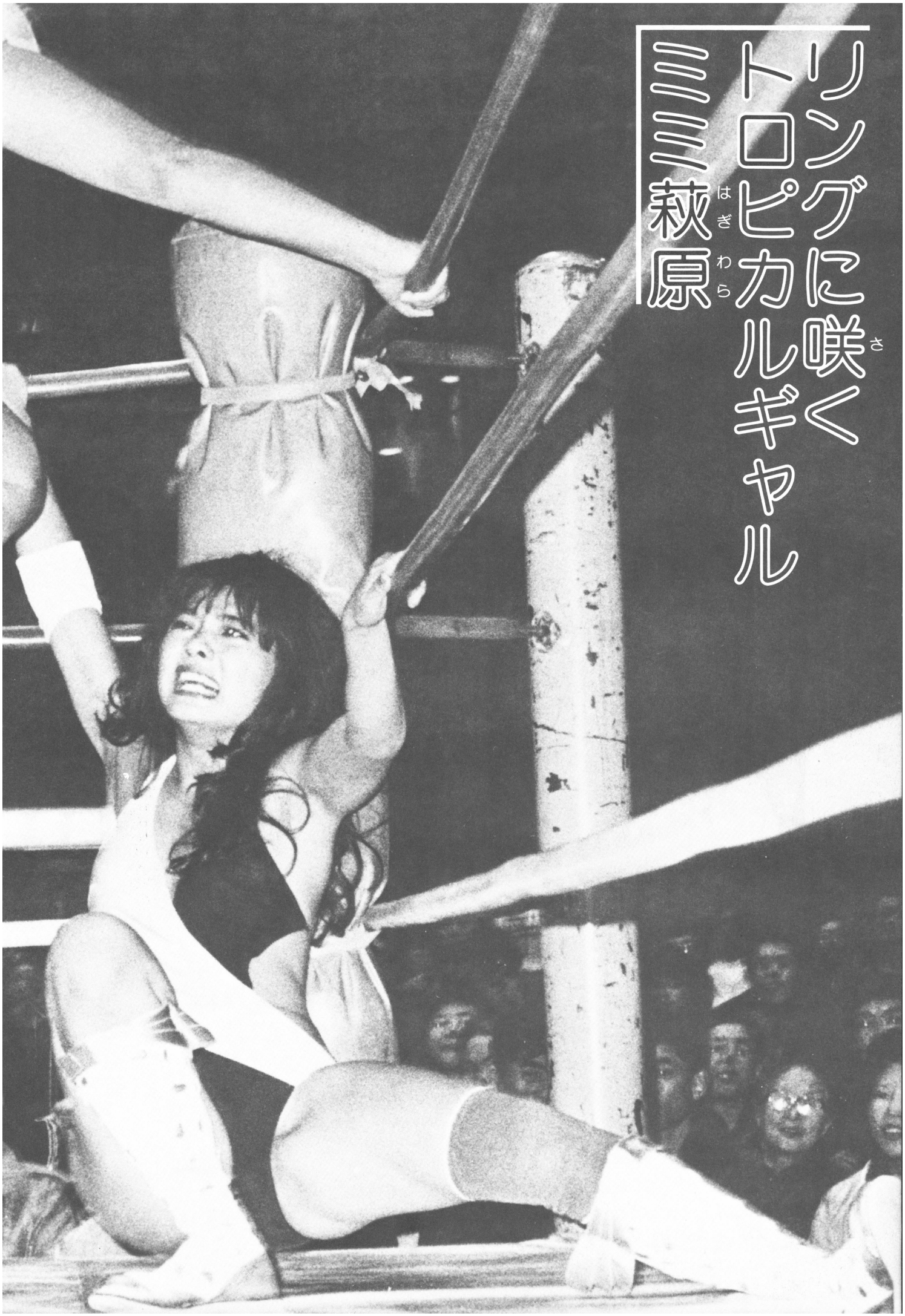
ノリはリングの聖子ちゃん

まだ、あどけない立野記代。16歳。中学時代は水泳と陸上の選手だった。ニックネームはノリ。いつもポシエットを肩にかけている。甘えんぼうだから、みんなにいじけ座の生まれとからかわれている。本当は射手座。でもリングでは真剣勝負。先輩との試合では死ぬんじゃないかと思うくらいなときもあるという。

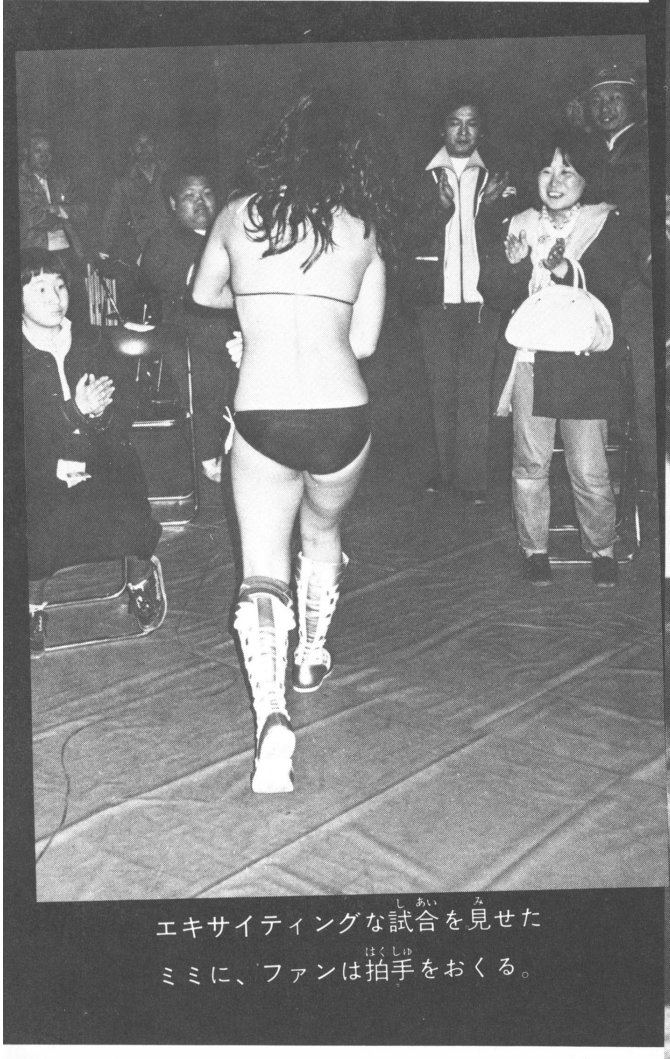


巨象・モンスター・リッパー

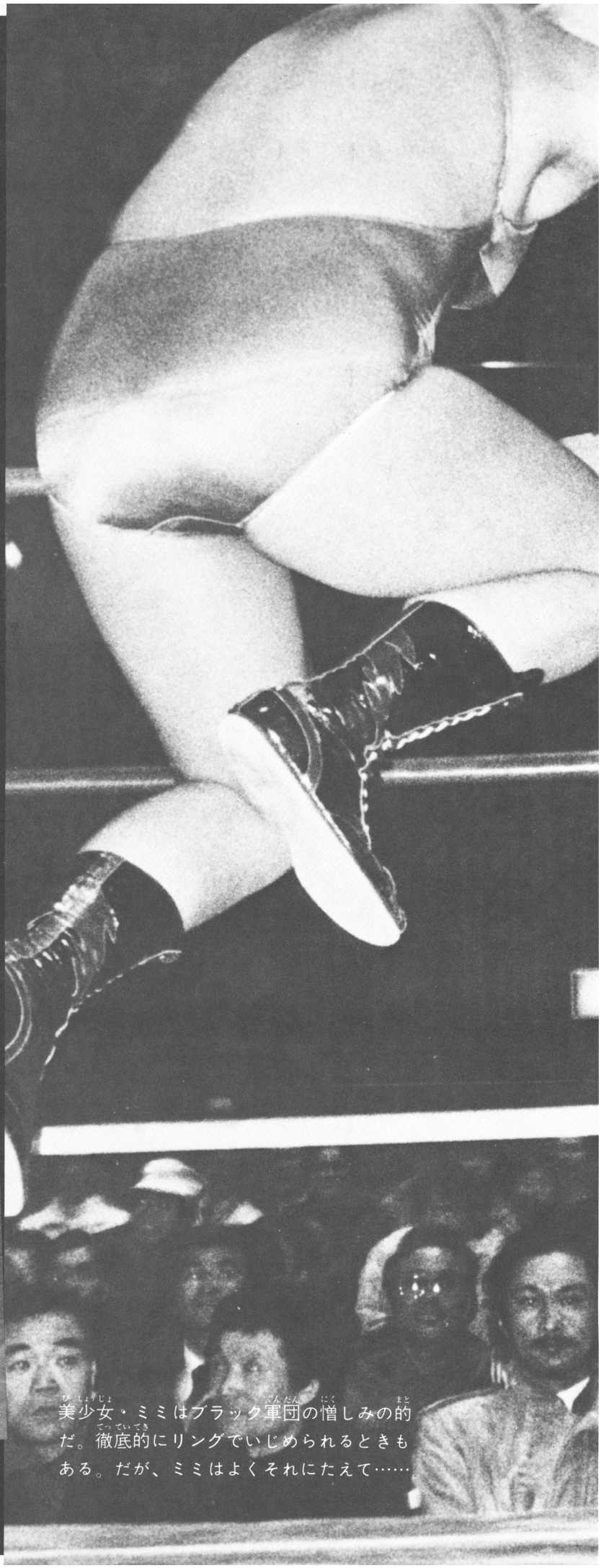
リッパーはカナダのアルバータ州生まれ。父親はカナダ人。母親は中国人のハーフ。ジャッキーにただ一人4勝2敗と勝ち越している。リングの暴れ者だが、素顔は21歳のヤングギャル。メキシコに素適なボーイフレンドがいて、やがては結婚したいという。日本でのベストフレンドは、デビル雅美。音楽はディスコ・ロック。口紅はプラム。花は赤いバラが好き。50キロの鉄アレイを両手に持ち、一分間も前方屈伸を続ける怪力の持ち主だ。7回も日本に来ているので大の日本好き。ミソラーメン、チャーハン、すしがとっても好き。



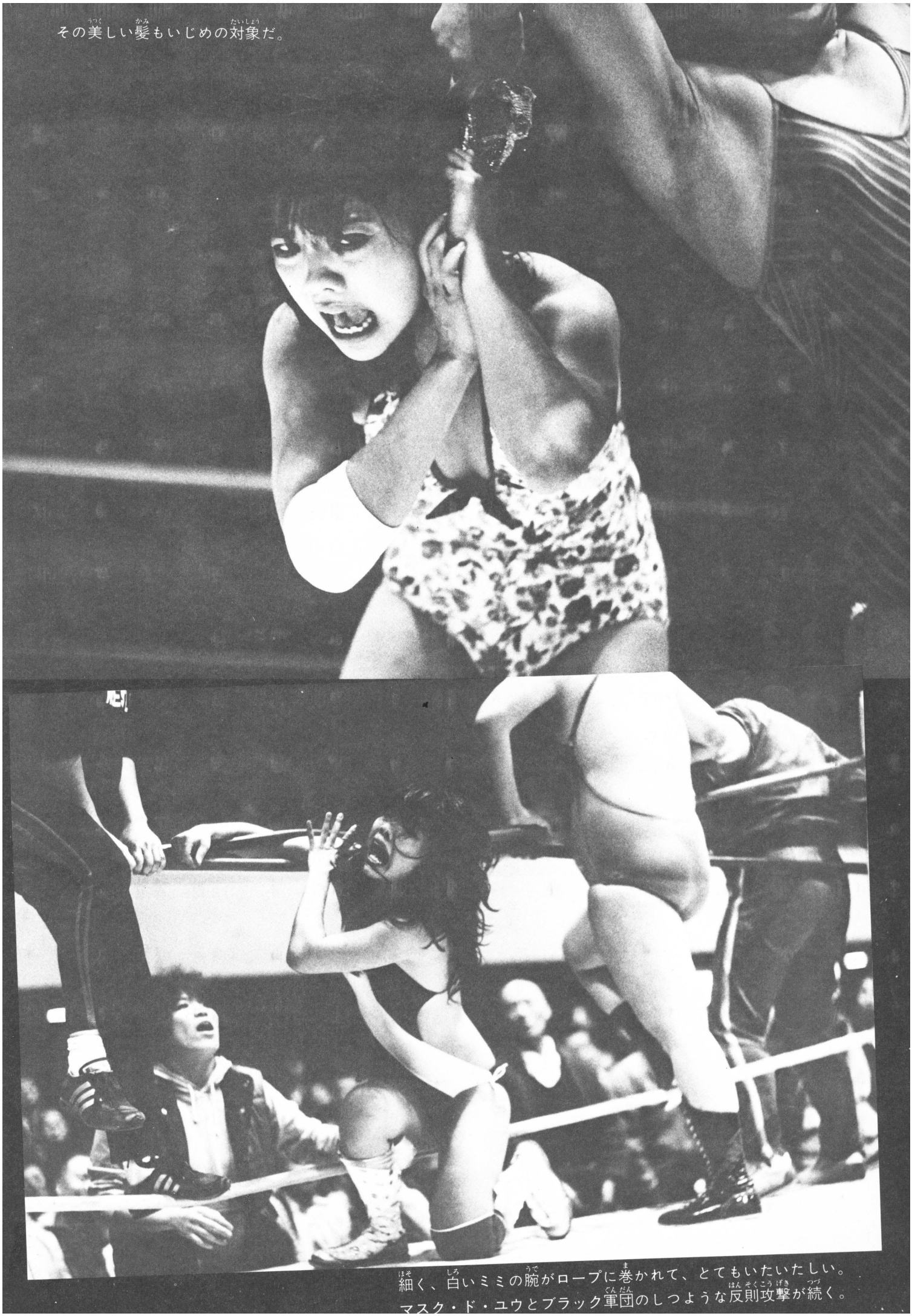
リングに咲くトロピカルギャル
ミミ萩原



エキサイティングな試合を見せた
ミミに、ファンは拍手をおくる。



美少女・ミミはブラック軍団の憎しみの的だ。徹底的にリングでいじめられるときもある。だが、ミミはよくそれにたえて……


その美しい髪もいじめの対象だ。
ハア!
細く、白いミミの腕がロープに巻かれて、とてもいたたしい。
マスク・ド・ユウとブラック軍団のしつような反則攻撃が続く。

ミミ・グラフィティー

ミミ萩原　本名・萩原妙美
昭和31年2月6日、東京・港区生まれ。水瓶座。14歳でモデル、48年10月歌手デビュー。52年全日本女子プロレス入り。愛称　ピーター。キョーフのオシリ。血液型　A。趣味　食べること（シャブシャブ14人前を食べた記録アリ）、クラシックピアノ、乗馬、テニス、スケート、友だちにしたい男のコ　楽しい人。恋人にしたい人　しゃべらない人。寝るときパジャマ（寝相が悪いので朝は裸になっている!?）口紅　ローズ。好きな花　スイートピー、バラ。チャームポイント　目。尊敬する人　ママ。好きなスポーツマン　タイガーマスク。恐いもの　霊。好きな動物　馬、犬。マスコットの動物　ピノ。
ママにこんな手紙をしょっちゅう書く
「ヤッホー　ハハウエ　元気か？　わが輩も元気ジャ　ギャハハハ……」という感じ。巡業地の絵葉書を同封することも忘れない。
身長165　B88　W62　体重55kg

なる変身

神サマはときどきひとりの美しい少女を選んでその人生を大きく変えてしまう。神サマが選ぶくらいだから、彼女は強い星の下に生まれ、ふりかかるさまざまな苦しみを乗り越えていく。ミミ萩原の場合もそうだ。星座は水瓶座。父親が日本とスイスのハーフで、小学校はアメリカンスクールに。そして中学はスイスの全寮制のモンセジュール校を卒業している。だから英語とフランス語はペラペラだ。今でも外人レスラーの通訳をしたりして、みんなから尊敬されている。普通なら、もう商社マンのおヨメさんになって外国に住んでいたのかも知れない。だけど日本に帰って、再び、アメリカンスクールの高校に入学してから、ミミの運命は神サマのイタズラによってガラリと変わっていく。

スイスの中学校はキリスト教の学校で、上流階級のちゃんとしたレディーに育てるため、男の人は門番ですら校内に入れないほど規則が厳しかった。だから、ミミは早く日本に帰って、ママに会いたいいっしんで三年間を過ごした。反対に、日本でのアメリカン・ハイスクールは、すごく自由な雰囲気で、校庭のベンチではステディな男女のカップルがたくさん座っていたし、授業をエスケープするスリルを味わったり、ミミは伸び伸びと高校生活を楽しんだ。

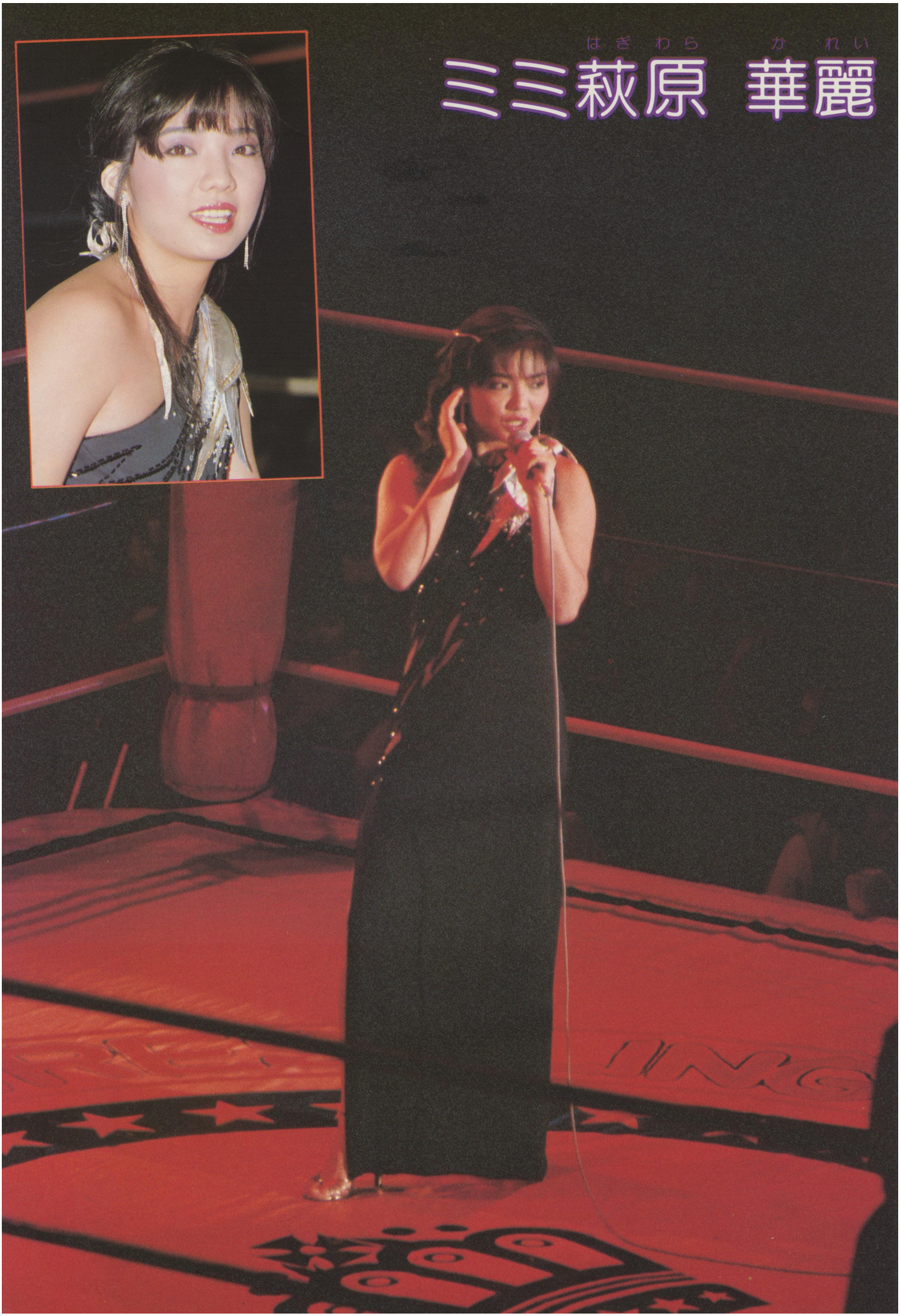
そんなある日、友だちのハーフの女のコがモデルになりたくて、オーディションを受けたが、通訳がわりにミミもついて行き、ついでにミミもモデルに誘われたのが、芸能界に入るきっかけだった。

野性的でキュートなミミはめきめきと人気が出て、今の薬師丸ひろ子の人気をしのぐ、みんなのアイドルになっていった。四十八年の十月には「おしゃれな土曜日」で歌手デビュー。名古屋での最初のサイン会は、ものすごい人だかりだったという。それからミミはテレビ・タレントにも挑戦。「プレイガールQ」などに出演し、女優としても成功、華麗な転身を続けていった。

レスラーからタレントへという場合はあっても、歌手からレスラーになったのは、ミミが初めて。坂上二郎さん主演の「狸先生騒動記」に出演したとき、そのころ人気絶頂だったビューティ・ペアが一緒に出演。ジャッキーや、マキ上田と友だちになった。そして後楽園で彼女たちの試合を見て、そのあまりの迫力に、それまでミミの体の中にねむっていた、野性の闘争心と未知の世界へチャレンジしていく気持がどっとあふれ、ビューティ・ペアに社長に紹介してくれと頼みこみ、練習生として通うことになった。

練習はきつかったが、他の女子プロは過去にスポーツをやっていて体力はあるのに、ミミはスポーツ歴はない。「三日も続かない」とささやかれ、プロテストに合格しても故障続き。女子プロ始まって以来の87連敗というワースト記録も作った。だがミミは驚くべきガッツとチャレンジ精神で苦しみをのりこえ、昨年二月、念願のオールパシフィックのタイトルに挑戦、池下ユミを破って王座に。十一月にはWWWAタッグのタイトルも獲得した。

華麗なる転身を遂げたミミ萩原はいま、リングに真赤に咲きほこり、さっそうと明日に挑戦していく。



ミミ萩原 華麗

はぎわら　かれい

萩原今・燃える青春

「挑戦できただけでも、ありがたいと思え」といわれた、オールパシフィックのタイトルを初挑戦で手にしたミミ。今やナンシーをしのぎ人気絶頂だ。昨年九月オレンジレコードから出した「スタンドアップ」がヒット、二月発売の「アイリーン」も好調、エグイプロポーションと歌声をリングで披露している。

ピーター・フォーク主演のMGM映画、「カリフォルニア・ドールス」にもジャンボ堀と共に出演。日本での六月公開が楽しみだ。

ミミの得意技はフライング・ニードロップ、回転エビ固め、ミミ自身が開発したミミ・スペシャル（高い位置からバック・ドロップで決める）。これらの技で、テクニシャンのジャガー横田、ベテランのナンシー久美、ラファイターのデビル雅美らと対等に闘うミミ。今日も元気のいいかけ声と華麗なファイトがリング上でさえ、こだまする。

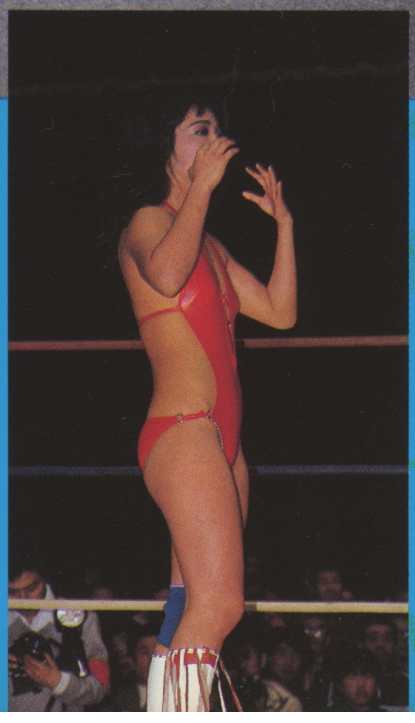
現在は打倒ジャガーが目標だ。ジャガーの持つシングルのタイトルを虎視眈々と狙っている。そんなミミが睡眠中に見る夢も独特だ。スランプやケガをする前の晩はお墓の夢。客が大入りで、満足のいく試合をするときはきまって鶴の模様の十二単衣（平安時代の着物）を着た夢を見るという。いつか千年女王のようにタイトルを手中にし、リングに君臨する日を夢見て、ミミは今、青春のまっただなかで燃えている。

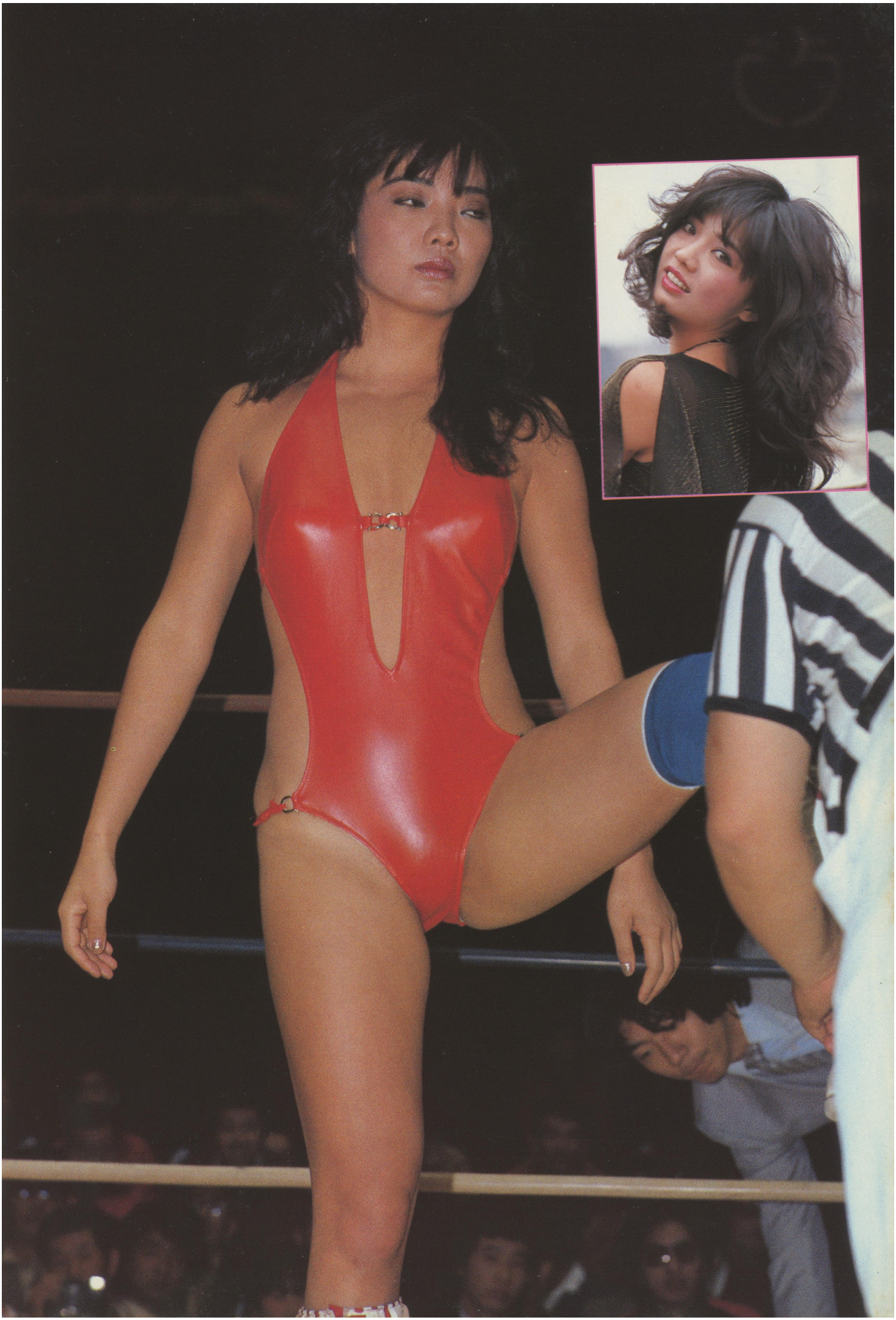
未来への挑戦

ミミがファンに初めて明かす秘めた目標

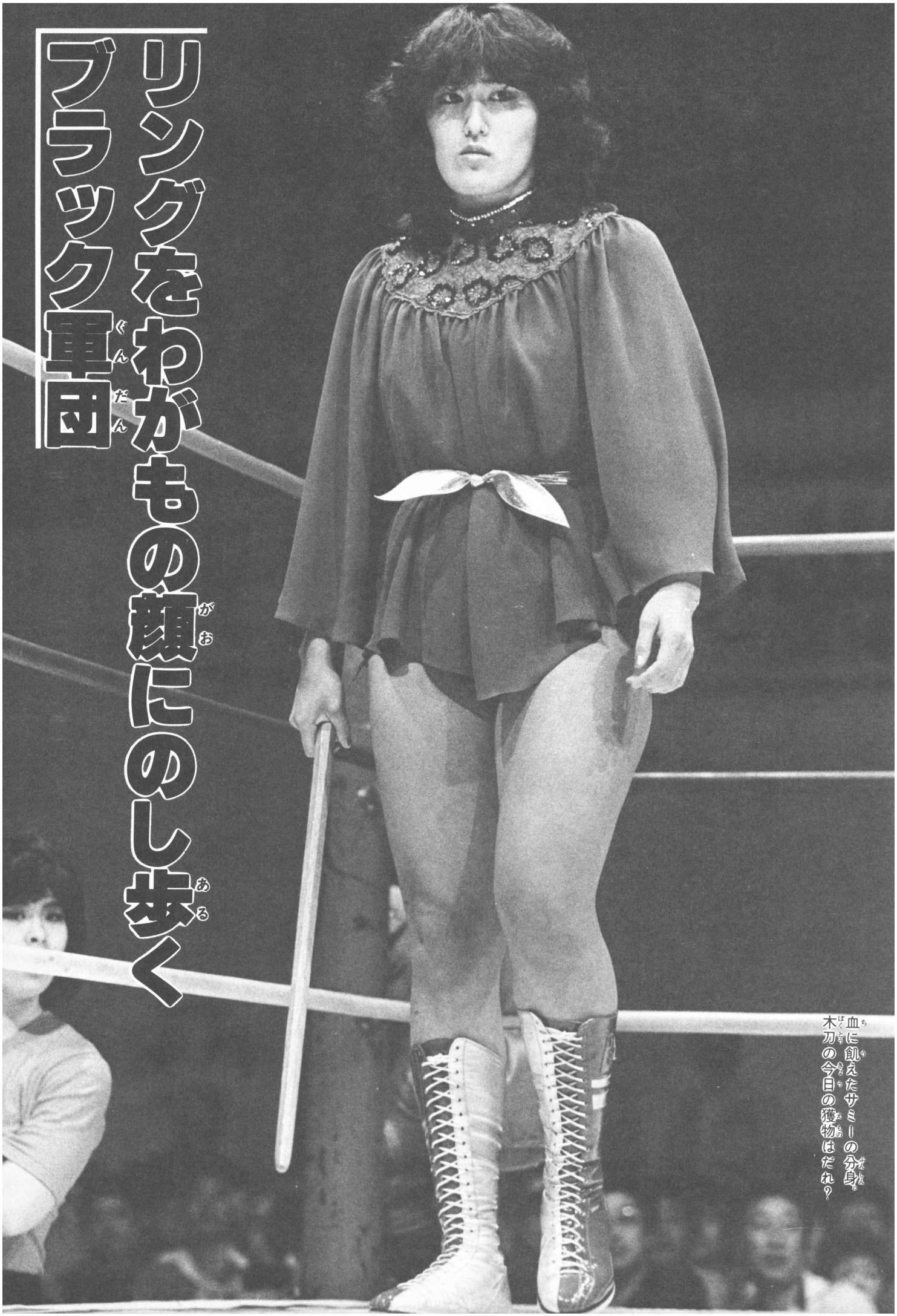
激しい闘魂で、体力のハンディキャップを乗り越えたミミの最終目標は、もちろんすべてのタイトル奪取だ。タイトル奪取後、ミミにはこれまで誰にも話さなかった目標がある。それは、歌と踊りを基本からアメリカでみっちり勉強して、ハリウッドやブロードウェーの舞台に出演できるミュージカルスターになることだ。だから憧れのスターはバーバラ・ストライサンドとファラ・フォーセット。

休みの日はピアノの前に座り、ベートーベンを弾く。未来に挑戦する準備もおこたりないミミ。明日へ——フライング・アタック。跳べ！　青春を……

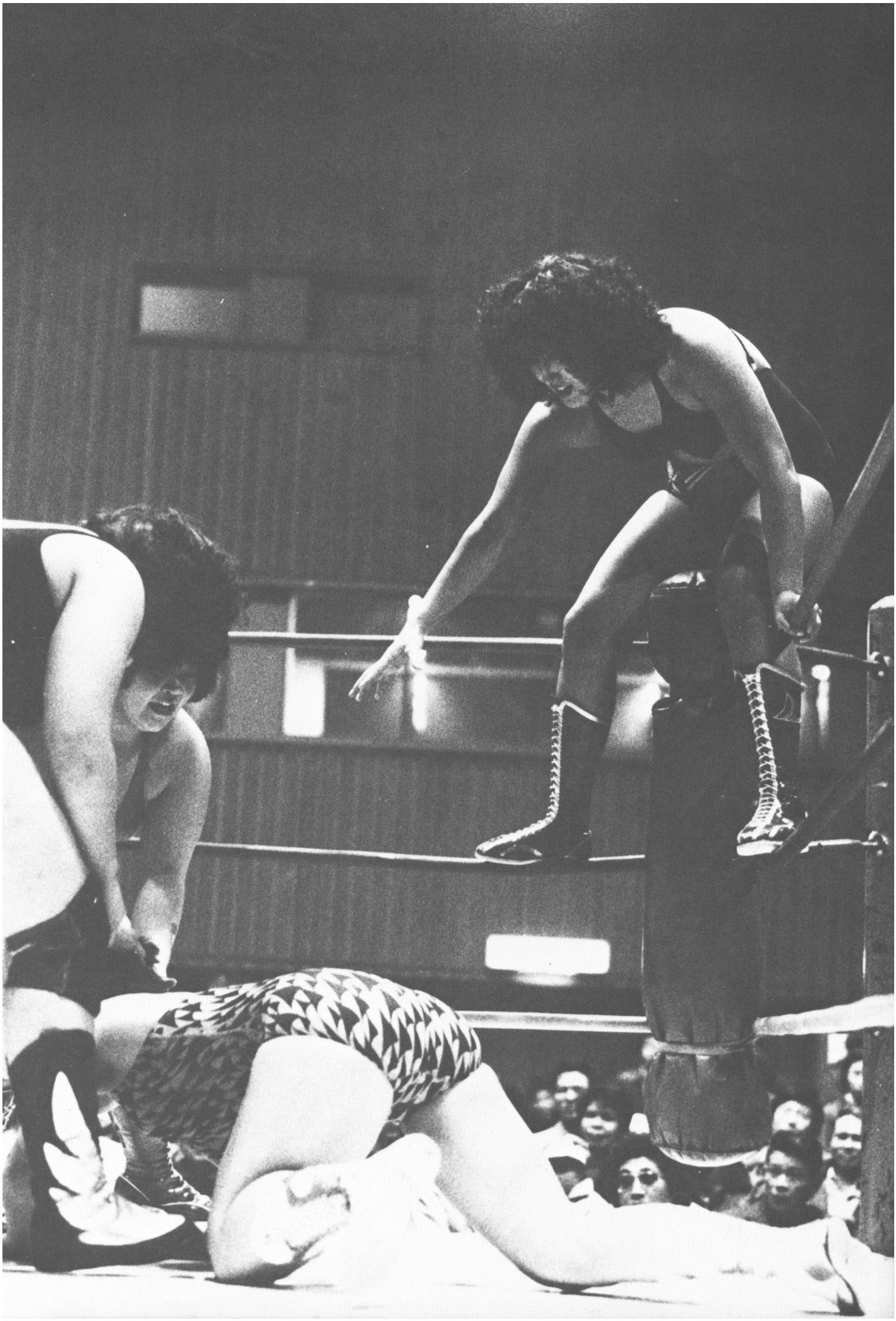




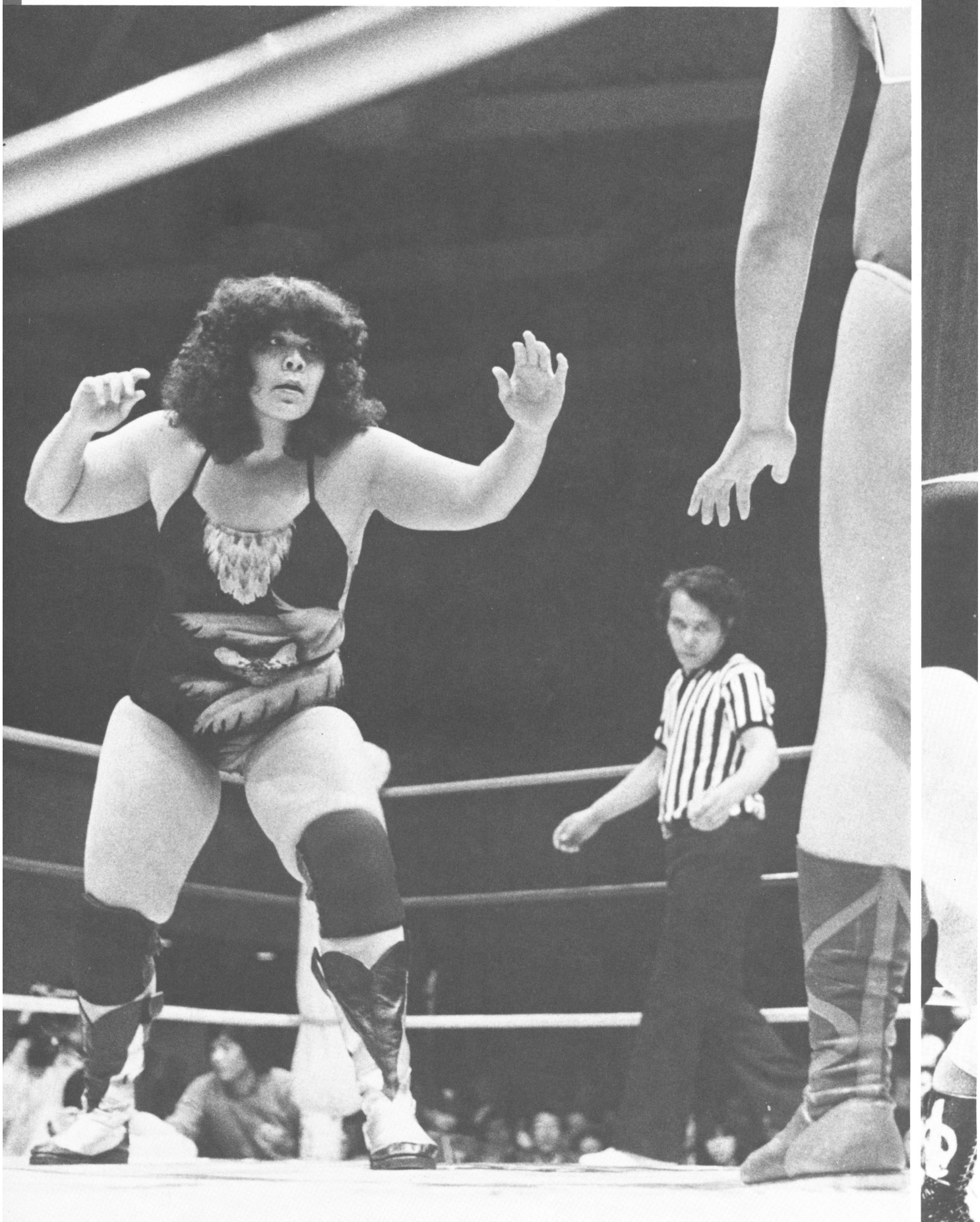
リングをわがもの顔にのし歩く ブラック軍団



血に飢えたサミーの分身、木刀の今日の獲物はだれ？



松本　香、浅見美樹をしたがえて、悪の見本を示す、サミー。獲物は、ブリッ子・立野記代だ。



モンスター·リッパーの得意技は、ハイアングル・ボディリストバスター（ボディバスター）からの背骨折り。これをくらうと、女子プロといえども、ひとたまりもない。

勇気があればやってみない？

女子プロレスラー24時間

女子プロレスは、いつもは地方の町から村へと試合を続けていく。とても厳しい毎日なのだ。甲子園めざす合宿よりも、プロ野球のキャンプよりも激しいトレーニング、試合、その他、いろいろな仕事が待ちかまえている。

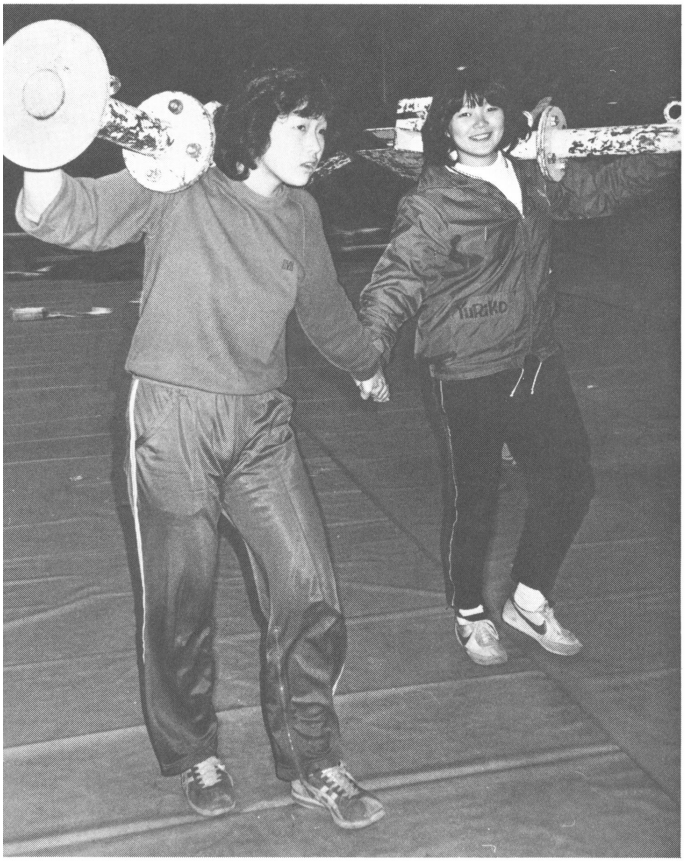
朝八時、起床。それが決まりだけど、みんなはもうすでに起きていて、特にナンシー久美は、見知らぬ町で公園を見つけ、もくもくとトレーニング。ランニングが主体だけど、厳しくてとっても美しい表情だ。

また下町っ子のジャガー横田は明るい性格なので、みんなと一緒に散歩をしたりおしゃべりしたりしながら技を教えたりしている。

ブラック軍団のデビル雅美はとても女っぽい。ワイルド香月やマスク・ド・ユウ、それに松本香らにとても信頼されている。木刀を道具にしてやはり技の研究に熱心だ。

八時には、もうすっかりお化粧を終えて、手紙を書いたり、それぞれのバッグを整理したりして食事を待っているのだ。

午前九時〜〜〜九時半、朝食。体力が勝負なので、女子プロの人たちは朝からよくたべる。この日の朝食の内容は、サラダ、ハム、豚肉のソテー、おでん風煮物、お新香、ふきの煮付、卵、ノリ、味噌汁、ごはんと豊富だ。それらをまたたく間にたいらげる。



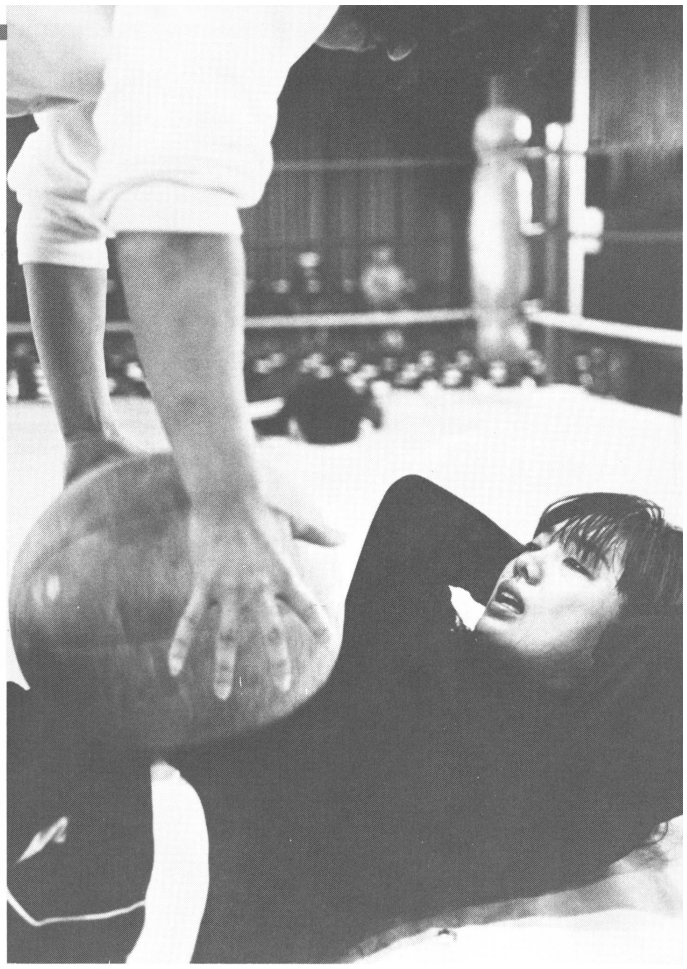
午前十時〜〜〜十時半。移動の準備。それぞれ、ホテルの部屋からバッグや道具を運びだして、ロビーに集まる。ブラック軍団とナンシーらのグループはやはり別々に集っている。だが、時間が経つにつれ、敵味方まじりあってなごやかな雰囲気だ。しかしナンシー、デビル、ミミ、ジャガーたちはお互いを意識しあって視線をさけている。やはりオンナのコの執念なのだろうか。

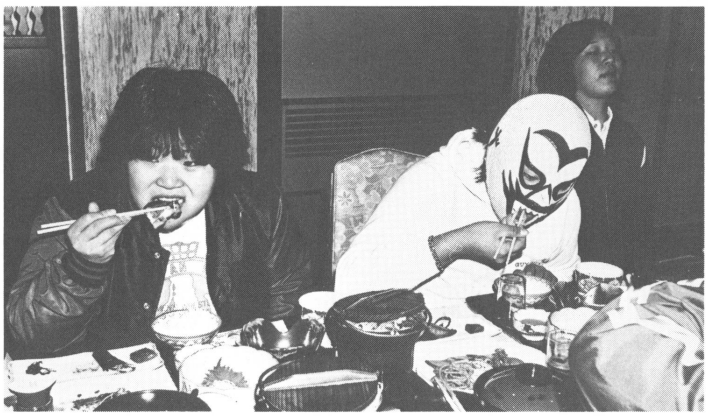
十時半、二台のコンテナ車（マットやリング、会場に敷く敷物などが積んである）と移動バス、合計三台でつぎの試合場の町へ移動。この日は三時間もかかる。バスの中でも座席は決められていて、ミミ萩原は一番先きの席でナンシー久美は一番後ろだ。中間にデビル雅美、近くにジャガー横田。走り始めは、それぞれおしゃべりに夢中だ。後方ではナンシーのペット、ゴリラのゴリちゃんをかわるがわる抱きしめほっぺにチューをしたり、マンガ本を読んでいる。デビル雅美は音楽を聞いてもの静かだ。隣りで松本香（ニックネームはアーウ）が木刀をおもちゃにしている。まだあどけない少女。いたずらが過ぎて、アーウ！としかられたり。前の席ではライオネス飛鳥がウォークマンを耳にかけてディスコ・ロックを聴いている。一番前の席では、ミミ萩原がカゴの中からペットの犬、ピノを抱きあげてたわむれている。やがてピノは女性レフリー、一行のお母さん役でもある柳さんのひざに移って寝てしまった。

三十分も経つと、車内は静かになった。席にもたれて、みんなぐっすり、車中の夢はどんなかしら。

つぎの目的地、会場に着くと、がらりとみんなの表情が変わった。着くとすぐ、立野記代、松本香、山崎五紀、長与千種、高階由利子ら若手レスラーはバスから降り、コンテナ車からマットやリングの部品、ロープなどを次ぎつぎと会場に運んでいく。鉄骨は何十キロもある重いものだ。普通の男の人でも持ち上げるのがやっとのものを、軽々と運んでいく。つらい仕事だが、女のコらしく手をつないだり、ジョークをかわしたりしてとても楽しげだ。二時から一時間ほどかけて、会場内にリングが設けられ、椅子が並べられる。

三時〜〜〜五時、トレーニング。このトレーニングがものすごい。まず受け身の練習。若い手が次ぎつぎとマットに飛びこんでいく。熱い青春の汗がたちまちしたたる。リング外では重さ4キロの牛皮のボールをモンスターとライオネス飛鳥がバレーボールのようにトスしている。ミミがきゃしゃなお腹に同じボール





を何十回もたたきつけられている。ジャガー横田がハイアングルキックを繰り返している。デビルが香月に技を教えている。ネックブリーカーだ。ドロップキックだ。ナンシーは大森ゆかりと屈伸運動のトレーニング。モンスター・リッパーのトス練習の相手がジャンボにかわった。互いに相手の目をにらみ、すごい気迫だ。たたきつけるようにトスしあっている。

リング上の練習をひとしきり終えると、今度は若手がパートナーを肩に背負い場内を二周、三周とハードなスケジュールだ。デビル雅美が木刀をもって、若手ブラック軍団のメンバーが少しでもたるむとしかりつける。

五時練習終了。ミミとナンシーのスポーツウエアは汗でびっしょりだ。ハアハアと吐く息がとっても魅力的だ。ベテランが去ったあとも、ジャガーは若手をつかまえて、リングで受け身、ハイキック、そしてコーナーマットからの攻撃の練習。長与千種はそれをまともに脇腹にくい、ヘドを吐きそうになる。それでもジャガーに「ありがとうございました」と礼をいう。そのあとは、それぞれのグループで公園をジョギング。そしてふざけあい。でも片ときもレスリングは頭から離れない。

大森ゆかりは、ふざけあいながら、一度に四人もオンブしてしまった。この怪力!? それがリング上で実を結ぶのだろう。

五時半。遅い昼食。楽しいひととき。長与千種のメニューを紹介しよう。

ピラフ。スパゲッティ。ビフテキ二百グラム。チョコパフェ、ものすごい食欲だ。

六時。バスの中でお化粧。みんな美しく変身。会場控え室へ。デビル雅美が場内アナウンスの準備。リング上ではみられない女っぽいしぐさ。そんなデビルを見たら、いっぺんにファンになることうけあいだ。

六時半。試合開始。

九時　試合終了。

その夜、ジャガー横田に挑戦した立野記代「殺されるかと思った」。それほど真剣なのだ。

九時半〜〜〜十時半。場内整理。重い道具や設備をふたたびコンテナ車へ。

十時半〜〜〜十一時。ホテルへ。さっそく遅い夕食。

十二時。お風呂。

一時。就寝。

キミたち、このハードさについていける？

（文・田中真人）

明日への挑戦

しなやかに
たてがみをなびかせ
明日の敵に
たちむかう　青春の
激しい叫びが
リングにひびく

●日本女子バレーボール・リーグ特集　大好評発売中！　定価680円●

'魔女っ子'フォト・アルバム

売り切れの本屋さん続出！

＊日本女子バレーボール界のエースたちの活躍を、迫力カラー写真で特集したスポーツグラフ！

タテ約30センチ×ヨコ21センチ

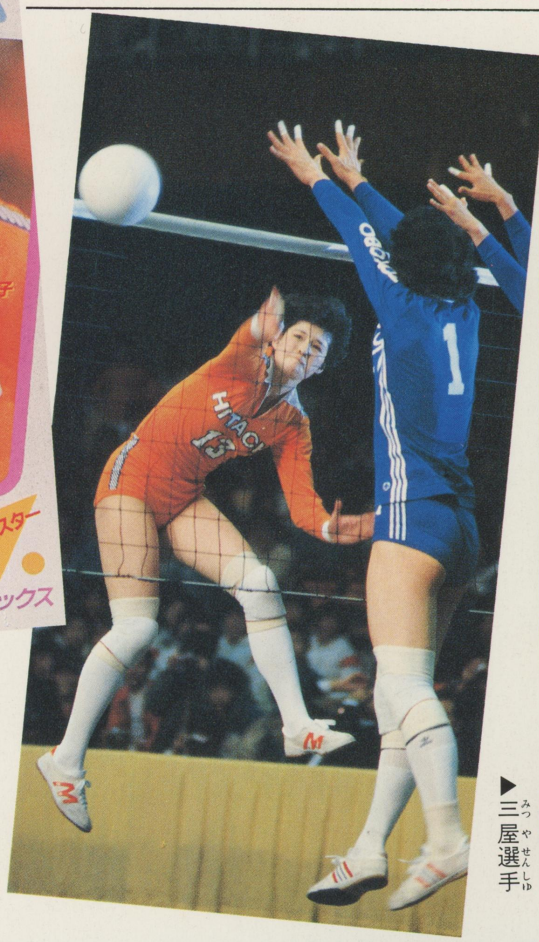
♥すごい人気のプリンセス ロマン デラックス♥

◉特別ふろく〈タテ約74センチ×ヨコ約53センチ〉

三屋裕子選手他の特大ポスター

◉とじこみ〈タテ約45センチ×ヨコ約30センチ〉

中田、広瀬選手の大型ピンナップ



▶三屋選手

＊女王・江上、アイドル・三屋、中田、広瀬選手らを中心に杉山、横山、小川選手らの活躍をカラーでキャッチ！

◉アイドルたちのミニストーリー、Q&A、チーム紹介も収録！

緊急！
5月1日発売　定価680円

快調のスポーツグラフ第2弾！

日ソ女子バレーボール
王座決定戦速報グラフ

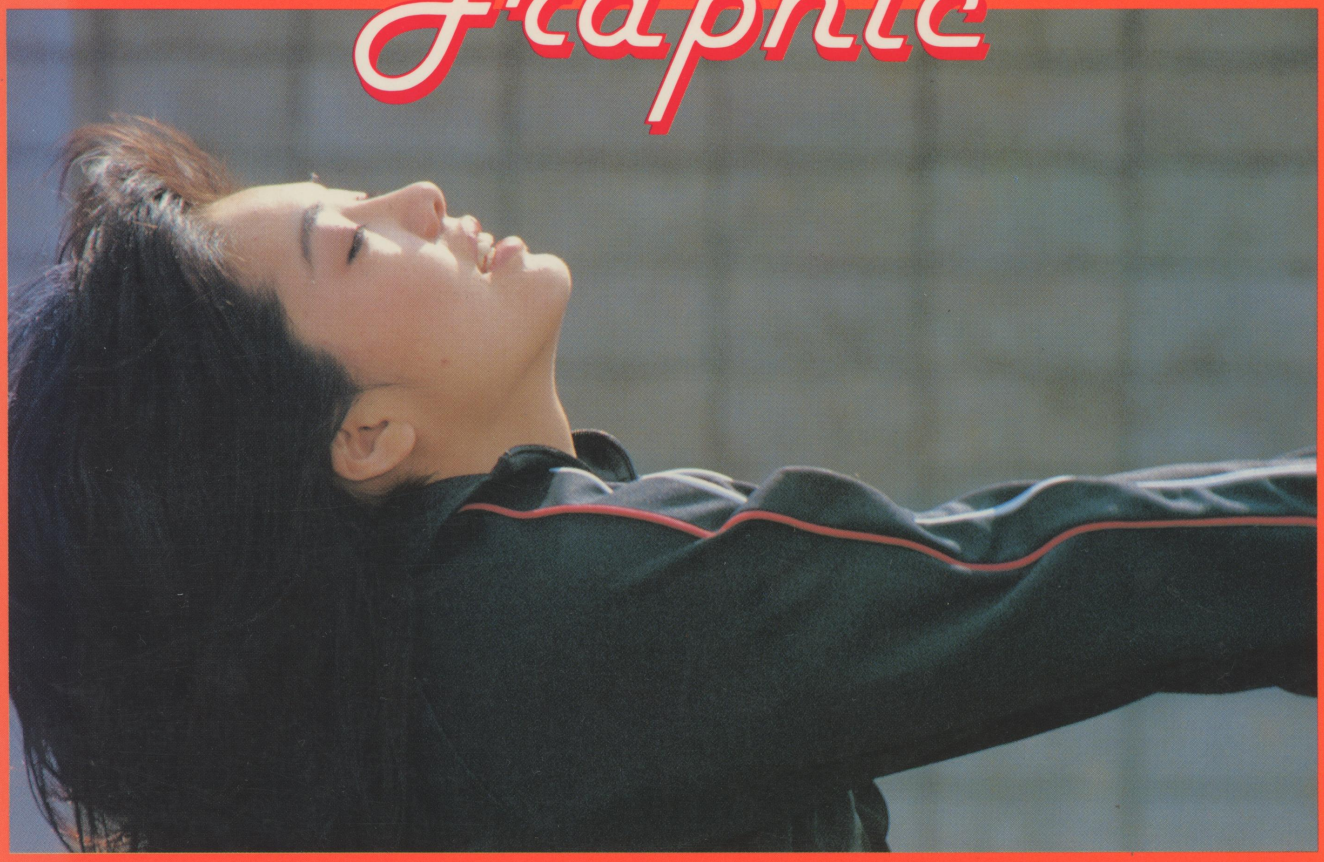
スタープレーヤーの大型ピンナップつき

日立とソ連ウラロチカ・チームのエースたちの熱戦ぶりをカラーで特集！　緊急速報！

〒102　東京都千代田区飯田橋2—10—8　秋田書店・発行

チャンピオン　デラックス

Beautiful Fighter Graphic



CHAMPION
DELUXE

昭和57年6月5日発行

編集人　阿久津邦彦
発行人　秋田貞美

発行所　秋田書店

102 東京都千代田区飯田橋2-10-8
電話(03)264-7011(大代表)
振替・東京3-19353

定価六八〇円

雑誌　64791－01

©秋田書店1982

大日本印刷株式会社　Printed in Japan